



淀

与行

山城

清水濱
臣藏書

古今

まゝの流のこゝろの
たゞのこゝろにまゝのこゝろ

海河 淀中 菖蒲 柳 月 香水
アヲ 野 五月 月 香水
コモ 二寸 三ツケ 袋 舟

淀橋

山城 八ヶ 新橋

ミトウキ カモノ アナチ
ツラレ川 下 花 川 池
イタ イケス イナツナカ 川 舟
イナツナカ 川 舟

万代渡 丹後

藤原

余綾 相模

万代

夜床浦 奉節

周の池 大和

万十二

流の名よきよのありて
ゆゑに名も万代乃一急

ゆゑに名も万代乃一急
ゆゑに名も万代乃一急

ゆゑに名も万代乃一急
ゆゑに名も万代乃一急

橋本
おれ御のまのついでついで
ついでついでついで

柳 三ッコ菱 一花橋
吾活 三ッコ菱のついでついでついでついでついでついで
のついでついで

横川

秋分今
月 五日後 時分 鐘堂 板

香 ヒヨト山 一花板

横井地

仁徳天皇十三年十月築横井地
留 留 留 留 留 留 留 留 留 留
泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉
入 入 入 入 入 入 入 入 入 入



余を休 各書出之 并 殊体已出
余曾根橋 未記

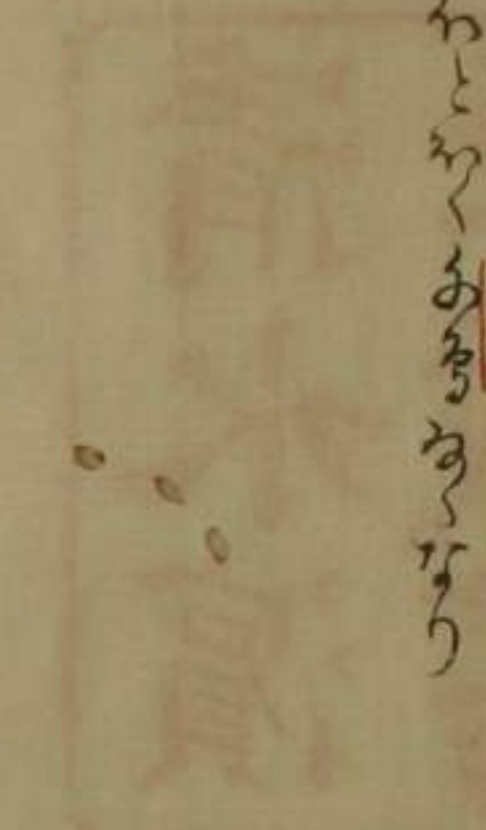
秋分下長
ヨナハリ
ヨコモリ
大和
八ッコ菱
但野尻 兎田ヨナハリ
ヨコモリ

夜書中

ヨナハリ
ヨコモリ
ヨコモリ
ヨコモリ
ヨコモリ

夜中写

ヨナハリ
ヨコモリ
ヨコモリ
ヨコモリ
ヨコモリ



横野

仁徳天皇十三年十月築横野
留 留 留 留 留 留 留 留 留 留
泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉 泉
入 入 入 入 入 入 入 入 入 入

万葉ノ子ハフ横ノ一花ノ三ッコ菱ヲケツテヨコモリ
ツルナ シス 玉置横ノ 菱 香 玉置横ノ 萩

余者浦を

余にこのついでついでついで
ついでついでついで

与謝

千載
丹後
おれついでついでついでついでついでついで
おれついでついでついでついでついでついで

+

山

おれついでついでついでついでついでついで
おれついでついでついでついでついでついで

横走

おれついでついでついでついでついでついで
おれついでついでついでついでついでついで

横川

おれついでついでついでついでついでついで
おれついでついでついでついでついでついで

横田山

おれついでついでついでついでついでついで
おれついでついでついでついでついでついで

キナ山 ミツ山 子子 六田 胡尔 六、

カ
アセミ花白クハ 山奈 云ノ井セキ堂
イロ 飲用紀 ミヨシノ京 一ノ月クモ オノロマ
万ヨシノ圃 一ノ坪 陸上アセミノ花
アユリシル タキノ歌 アキツノ ミカ子ノタケ
ウ川 タカモノ山 音 子多 代
ヨムラカ多ク シ、 妙花 口ラビ ミタケ
大川水 岸ら茶 イトクハ川 ミラツタシ 小タキル
谷ノイシタマキツ ミノモトノ小田 一ノ歌 雄 蔵
お茶活サノ店 云彦 個代 吉清蔵

吉野 山城

吉田 花
玉紫 けしき けしき けしき けしき
けしき けしき けしき けしき けしき
けしき けしき けしき けしき けしき

喚續演 尾張 中津部

形存也送
けしき けしき けしき けしき けしき
けしき けしき けしき けしき けしき

お茶活サノ店 云彦 個代 吉清蔵

吉見也

又小 吉家 屋松ホニハ 和茶と 尾張松葉部
和名丹は河鹿歌 吉見を元 在母ノ心
月々たけい 月々乃 秋のくれ
おれ社のおみちをこしれ

吉乃村 吉

吉乃村 吉
おれ社のおみちをこしれ

吉水以 吉

吉水以 吉
おれ社のおみちをこしれ

呼坂

呼坂
おれ社のおみちをこしれ

呼吸

呼吸
おれ社のおみちをこしれ

余瀨の山

余瀨の山
おれ社のおみちをこしれ

吉藤山 尾張 海ア歌

吉藤山 尾張 海ア歌
おれ社のおみちをこしれ

十

八

寄本郷 尾張 海防 凡土記云上農

用本田郷 日 下農

横田山 日 中務殿 同云出竹松又禽獸繁多

丁山 日

若見郷 日 又有好之郷 同云出石赤芝芥芝藥等

同云中農下出瓶兔亦花圖大根

夜暗郷 日 日云下農

与流世郷 日

同云川出諸鱗有真口貝形似蛤大貝能治腹痛民家取用之

餘箇郷 日 羽粟殿 同上農

夜瀬郷 日 日 日下農

夜卧郷 日 日 同上農

良峯郷 日 中務殿 日下農

横川 日 羽粟殿

同云出年奠并加志賀民用多也 依名古山 伊賀 神名依那古神社

同云有神号曰大明神亦祭味好言 是根也

丁中郷 日 日 出和名抄 既同土記

縁澤 日 波河 中ノ殿

同云出独活蓮根菱实

吉田 日 吉田川出廬原川

横田 日 羽粟殿

同云無正稅郷学醫士之給料

太

十

八

1

1

驛馬之草料當此御

横枚野 日 日

去官府舍俵二百步計九其夜
盤巻多也

(Faint bleed-through text from the reverse side)

太

多波洗嶋

肥後

后振

すまろけれあゝんこふらたれ
よるそらとくれまらふて

大の志
よふかき活
よふかき活
よふかき活

橋小戸

日向

橋のこたけ
あけりやわし
あけりやわし

橋小戸水廻

上道入
谷波

多波洗中

未切

又二十二

あうけれたれ
あうけれたれ

多波志保山

陸奥

山集みらの
みよのつら
みよのつら

田原

山城

又二十一

あうけれたれ
あうけれたれ

立野

武家

和名多かせ

橋

秋吉のち乃乃ぬてりし
ゆづりてそそこひり

アライ山 セリ 三三 麻 鹿 鹿 鹿

大乃造江

非名本

神中抄に玉造江トモアハモミホノ
名カトナリふれ大乃造江ナル
ヒルミトアア後キキリエテヨリ

后拾遺

兼代とあきまりのり
くらつくろえれり

立井

美濃

不彼歌

河内

むしりし井水はらるね
うづるくせしとて

丹波

入集

まふにそそ水くさるる
たふくききこく

丹後

入集

なれむきくねたんつ
あつたあしんを

田沼川

美濃

不彼歌

但馬

入集

まの川の勝を信らあり
あつたあしんを

橋嶋

大和

仙芝が橋宗伊藤入る
和名大和或は内

橋寺

大和

不彼歌

橋のつ乃乃ふかあつ
くらえかのつりし
けこそめり

高溪

橋

後拾遺

こてんてあまの
むしりし井水はらるね

初尾山

和名

月
今河内高野寺
中野寺王名家
入伊勢

初尾山
こてんてあまの

橋
推定

ミカリスル
上カハル
不彼

高雄山

山城

拾遺

あまののちのち
君はあまのち

けや山集
いへ但集即ち手集

橋坂

和名

今を集二大守
和名

文二十一

あまのちのち
あつたあしんを

立野山

和名

文三十

あまのちのち
あつたあしんを

立山

越中

名歌

高田

松多々

ひろ巻 ツ、シ セミヤスラを扱ち

高写

幡

ほ撰 物あつてゆきも、の、い、ほの
あすのよまわいねーあつん

高田

類字と、は名ヲ出シテ石見トス石見は名

拾遺

ふけやうけ、高のひ乃りて、

難字、ばけと、い、やれと、い、ゆき、まゆのま、
田、ま、入、て、手、後、ま、れ、
七、五、井、水、不、富、火、七、
五、苗

高津

極付

金系、い、ゆ、の、ひ、の、ひ、の、ひ、の、ひ、の、ひ、
た、る、の、ま、の、月、の、ま、む、ん
極、野、月、雷、十、二、八

歌部名

万十七

あし川のそ乃らふ山、こ、こ、さ、る

ハ、ヒ、ツ、キ、リ、川、
キ、コ、ノ、ナ、ル、ニ、ナ、ク、

丹比

何内

和名本を記
丹比業羅宮を天皇命

言重記履巻

多、遠、以、思、述、秘、人、と、あ、り、せ、い、あ、り、せ、い、
の、ら、て、こ、ア、一、の、の、わ、ん、と、あ、り、せ、い、

一坂巻居

色、仁、信、
一、ま、塔、基、本、
雄、聖、の、後、

高玉

筑

名、高、同、神、傳、

丈三十一

修、つ、て、い、い、り、り、の、舟、の、り、ち、ら、り、
お、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

高水

敷中

丈二十八

津、さ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

浦口

た、の、く、あ、る、い、い、つ、つ、つ、つ、

百十九

修、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

高水

極付

本、和、家、文、物、本、

丈三十四

お、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

五社ある

そ、り、の、し、り、の、し、り、の、し、り、の、し、り、

百一

若、室、一、社、山、

田川、本、部、水、家、高、水、川、カ、キ、ニ、ナ、ク、ニ、ナ、ク、ニ、ナ、ク、ニ、ナ、ク、

高水

名、本、出、し、

堀右

わ、み、ら、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

高水

未詳

イ、ス、カ、ミ、フ、ル、ツ、ス、キ、
コ、セ、ニ、カ、ラ、

高水

未詳

お、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

高橋

神、名、伝、承、部、
一、神、社、
古、事、紀、歌、家、文、三、つ、つ、

高水

未詳

イ、ス、カ、ミ、フ、ル、ツ、ス、キ、
コ、セ、ニ、カ、ラ、

高水

村

高水

山城

百十六

や、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

高水

高水

百二、石、之、の、高、水、の、本、部、

拾遺、
三、白、の、伝、承、部、

高水

ヒ、シ、フ、ル、川、
右、百、二、ヶ、
右、百、二、ヶ、
右、百、二、ヶ、

高水

角山

高水

石、之、の、高、水、の、本、部、
高、水、の、月、と、い、ふ、

外

松尾

色虫

村

あり

百、五、ヶ、
天、の、高、水、の、本、部、
高、水、の、月、と、い、ふ、

一、由、一、宮、
氷、室、
湯、釜、
高、水、

秋後今 口尾のふれね
定信元大 くのむれねのき戸水

高野 紅伊

高野 紅伊
ひろよふのふ乃御ね
山尊 後月 後葉 雲 時直
雲灯 ね 雲 龍 玉川
後葉 苔衣

高倉山 飯中

高倉山 飯中
花 岩 伝 アカフル鈴
酒花 ぐらむれてふくふつむね
川福 三モトノ里

高山 香登 別名 大和

高山 香登 別名 大和
後原 権 たん山の岩ふくせうのの乃
わしゆふくふつむね
百一ハチロラニト ミナ山 月 音 音
夕名子ヨリ出クル水 三モトノ里 音 音
高山ノ岩物ニシタカフ(一)

高安 河内 郡名

高安 河内 郡名
あつこのふあつたあ
甲いあれやちここよ

高天 大和

高天 大和
か
いこま山 月 官 キツカケコノナハ 揚衣
高天 大和
かをにのえさやまらんや
あつこのふ乃のれあつた

秋後今 口尾のふれね
定信元大 くのむれねのき戸水

高千穂嶽 日向 和名 臼杵 飯中 保城

高千穂嶽 日向 和名 臼杵 飯中 保城
日向 和名 臼杵 飯中 保城

高丘宮 大和 倭跡 天皇 高 葛城 一

高田村 飯中

高田村 飯中
天仁 大 常 之
高田 飯中 高田 飯中
高田 飯中 高田 飯中

高月山 飯中

高月山 飯中
高月山 飯中 高月山 飯中

高月河 飯中

高月河 飯中
高月河 飯中 高月河 飯中

高井山 飯中

高井山 飯中
高井山 飯中 高井山 飯中

高野 飯中

高野 飯中
高野 飯中 高野 飯中

高野 大和

高野 大和
高野 大和 高野 大和

大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江 美濃 尾張 河内 近江

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高野山 大和 丹波 紀伊 出羽 越前 加賀 美濃 尾張 河内 近江

高宮

大和 和名宮上郡 多々

古事記下 ミカホシリニハカウラキノタカミヤ
ワキノアタリ

高足山

和名 高足山

百代 高足山は高足山にあり
氏よりもけし物とてを御入

高足園

考日本紀曰高足園 蝦夷名
又日本書紀号

丈三十 高足園の山は高足山にあり
いづれもけし物とてを御入

高倉山

和名 高倉山

高倉山は高倉山にあり
いづれもけし物とてを御入

高城

大和

新抄遺 高城は高城にあり
いづれもけし物とてを御入

高城は高城にあり
いづれもけし物とてを御入

高石渡

和名 高石渡 大和 高石渡は高石渡にあり
いづれもけし物とてを御入

高石渡は高石渡にあり
いづれもけし物とてを御入

高尾崎

和名 高尾崎

丈二十六 高尾崎は高尾崎にあり
いづれもけし物とてを御入

高野山

和名 高野山

高野山は高野山にあり
いづれもけし物とてを御入

高野原

和名 高野原

高野原は高野原にあり
いづれもけし物とてを御入

高師山

和名 高師山

高師山は高師山にあり
いづれもけし物とてを御入

高師渡

和名 高師渡 井植山 高師渡は高師渡にあり
いづれもけし物とてを御入

高師渡は高師渡にあり
いづれもけし物とてを御入

大正九 三所山 杖
吹雪の山頂の松を
居たてた

戸床 伝名 浦

智洞

大和 又本意 鞍山名目

蜂 スン

茶 園 破

伝名川 糸 一 沖 夕かせ山主多ヨリ

鹿 橋 姓 千 多 松

高鴻 名

捨蓮

たりまをこれ中ふきん

夕三 月 松 麻 雷

氷 雪 杉 雲 芥 カキ

多賀池

未切

五十二

きりすのたより三三三かねね
たれれよらハワソいこじん

三ノ瀬

山 陸 陸

アト川 万竹寺 石を 三ノ多池

後 扉 一 三 木 二 三 木

寶

未切

ふたはふたあきぬのたきれ
うらたのそそんてあふ

寶池

未切

又十七

たのこわきりの池はほろん
むじにあそふのむさ

高瀬山

未切

但まの三所山と多く

多加佐士中

大和

吉原中

わきののたさのとうや
ともこれそめん

竹原浦

對

たりまのむらたれつ
まんといひわをきり

多田

未切

糸原のあまのりけり母乃ほのふた
今とたよじん

乳

山城

高鴻

伝名

あききりてはよありん人な
とてついで

三所山と伝名山は風よく
あききりてはよありん人な

新田 大和 平群 秋 杉 今 千名

新田

大和 平群 秋

新田川の... 又... 万...

山 川 河 東 尾 上

天 皇 御 宇 山 大 山

市 辰 市

辰市

辰市の... 辰市...

谷上

谷上... 月... 秋...

准加里... 史 伝 集

准加里

史 越

古事記... 史越...

准曾杜

准曾杜... 史越...

多津細川

多津細川... 史越...

多津永長坂

多津永長坂... 史越...

立田川

山城

立田川... 山城...

立 鴻

立 鴻... 史越...

千 總 濱

千 總 濱... 史越...

田 邊 坂

田 邊 坂... 史越...

田 中 村

田 中 村... 史越...

アシヒタク山ノスミカ 水魚 田代
月 麻 芦丸ヤ 中 血本
川 舟 氷 糸 千多 ミラ

か
ちのりり ろくろ 志水 田代
くまじ 喜後 カシ木 山代 兼
キリシスー山ノ木 杉木 山代 兼
ツノ舟 和包 飯 兼

田中井戸 伝伊

稲 麻
伝伊
田中井戸の山吹のそか

日向山 大和

左今
この日向山は元來日向山
かみらのやふ休のまき

振 月 叶 糸 香
未停

法加柳を六一 鹿 郭五 兼

日向山 糸

糸
ゆわくし日向山とけおけて
この山は日向山

介
冬在タツお坂山のまじりう 兼

多能武池 未知

秋今
この池は多能武池の池と云ふ
かんの風乃秋の夕え

秋の風乃秋の夕え

又三十一
田中井戸の山吹のそか
田中井戸の山吹のそか
田中井戸の山吹のそか

多奈久山 山

方糸集
山
伝伊 兼

檀林寺 山城

百十九
檀林寺の山吹のそか
檀林寺の山吹のそか
檀林寺の山吹のそか

多武山 大和

日向山
日向山の大和
日向山の大和

多能武池 武

又三十一
多能武池の池と云ふ
多能武池の池と云ふ
多能武池の池と云ふ

多能武池 大和

又三十一
多能武池の池と云ふ
多能武池の池と云ふ
多能武池の池と云ふ

憑里 信

信
憑里の山吹のそか
憑里の山吹のそか
憑里の山吹のそか

栲嶋 如雲

栲嶋
栲嶋の山吹のそか
栲嶋の山吹のそか
栲嶋の山吹のそか

玉川 山城

本 史後
玉川山城は玉川の
川に柳を植へて
是れ山城と云ふ
玉川山城の
山城

駒ヶ野 柳水くく人のあふの
くのたきき井とれ玉川
井手平 山 桂

コノ コリスアユ ヤナ カリ火柳
イモト橋 一 足
石川玉川の水のいひて玉川といふ

玉川 名

千載 あつては地ちの玉川流して
つらなほ月やうりなり

玉川 名
玉川 名
玉川 名

玉川 名

玉川 名
玉川 名
玉川 名

玉川 名
玉川 名
玉川 名

玉川 名

玉川 名
玉川 名
玉川 名

玉川 名

玉川 名
玉川 名
玉川 名

玉川 名

玉川 名
玉川 名
玉川 名

玉川 陸奥

玉川 陸奥
玉川 陸奥
玉川 陸奥

玉方里 未切

玉方里 未切
玉方里 未切
玉方里 未切

玉井 名

玉井 名
玉井 名
玉井 名

玉内田 日本国号 神武紀

玉造川 名

玉造川 名
玉造川 名
玉造川 名

玉山 名

玉山 名
玉山 名
玉山 名

玉村 名

玉村 名
玉村 名
玉村 名

玉横山 名

玉横山 名
玉横山 名
玉横山 名

玉浦 名

玉浦 名
玉浦 名
玉浦 名

上月雨 月

玉田中

新抄送 仁寿天皇の御時玉田の(乃)御日付
ふすやそのありぬらん

玉津鴻

左ノ
宮津 入江 宮 産
月舟 口カ浦

玉造江

唐 伊ノ子ノスキ 小松 玉イッルニ
内幸 唐

玉浦

唐 月 善政
万十五
傍ノ舟
ゆえぬのよそ明ゆし一御のうた
あさりあるふらわねけるなり
十多

玉久世

玉井沼 大和 名ニキツヤ、ノノコメヤ、ツクナヨノカスセコソリ
久世ノ外ニ試各アルニアラヌ玉造者ナリ
百十一
心城

玉籤山

未記
あホ三十
わうれおらういつ月ノちや
ひらりあややけらん

玉松山

名義
ま本を仁又丹世
まら元大孝子ノ可死
まらくとくくふまら
まららふまらくとまら

玉坂

王手巻 見孝靈記 孝安帝陵
柳村 孝修郎 有玉坂村
たえ集りかろひ一人のほめてはのら
まららふまらくとまら
まららふまらくとまら
たてはあひあひてまらら
まららふまらくとまら

玉苺里

未記
房のー 芦 村 月 あり
まらら 三ナト入江 アラ

玉緒山

拾遺
み本玉緒山十玉小進
あは玉有類多九一玉は
まらら たれ乃とらまはつ
あは玉有類多九一玉は

玉中京

新抄撰
まらら 玉中京のまらら
まらら 玉中京のまらら

玉纏山

但
まらら 玉纏山
まらら 玉纏山

玉水跡都

大和
まらら 玉水跡都
まらら 玉水跡都

アラレエー 谷ノ駒 物 萩 ヒツキニハ

玉横野

和泉 但横野は和泉に属す

彩衣送 玉の衣は秋の月の

三ノ本栞 敷

玉井

名

彩衣送 玉井の水は秋の月の

月 ね

里沼 アヤノ 菊マヤノ 終園新栞を記す 敷

時國神奉 爰敬之矣也 風流致矣

玉 月 玉衣 玉衣の衣は秋の月の

竹原山

大和 竹原山 大和

川 石井 終園 五月日

竹泊

敷 竹泊 敷

高市 寺 大和 天武紀 推古紀

高市

寺 大和 天武紀 推古紀

竹原

高市 寺 大和 天武紀 推古紀

玉井

山城

統日本紀十三天平十三月 山背國高市郡玉井村

彩衣送 玉井の水は秋の月の

山崎 山崎 夕之 雲 ミカノハラ

玉江

松浦

松浦 玉江の水は秋の月の

沼 五月日 雲 約

一申 中 大 一 末 玉衣 終園新栞を記す

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

竹川水歌

竹川水歌 竹川水歌

多氣

多氣 多氣

竹水門

竹水門 竹水門

武生國府

武生國府 武生國府

伊勢

伊勢 伊勢

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉衣の衣は秋の月の

玉江

歌

髪伸云々し髪りの玉江トモ奇
古く歌分トトと云う歌分玉江トモ又
極付云々

ほ標

ほ松送

二七 月 村 五月夜

玉出水

極付

天

松送

石の玉の水をてまつて
むすの葉の末は...

玉出岩

未切

化伊

松送

石の玉の水をてまつて
むすの葉の末は...

元慶五年十月廿二日酉伊正六位上玉出水松送後五位下

多胡浦

極付

又三十二

あつたつてふんせみらのれ
この...

多胡鴈

歌

万十七

...

多胡浦

丹

極付

又三十二

...

多古候

未切

又三十五

...

玉嶋

肥

松送

...

松送

...

...

珠城宮

大和

...

松送

池

夕三ノ風

楢津

極付

又三十二

...

立入村

未切

又三十一

...

立石

歌

又三十二

...

絶石池

極付

又三十二

...

楢津

極付

又三十二

...

楢津

極付

又三十二

...

多木中

山城

延喜式 延喜神名帳 山城國 藤原部
桐生神社 延喜大和トスル也
百十九ヶツカラテニトリテ朝カリニ
君ハ支キ又ハ多木中ニ以前ニ
久遠歌町 亦ニシヨニテテ花
也トテテ
白刺のたつち乃甘布花
きれとてせきけのなこうろ

彦彦

三本

あその掛け

竹河

伊勢

拾遺集 依宿恒新 出い名 依家集
亦宮 亦拜 鹿風 亦を 伊勢 亦名 亦也

拾遺 新注

あひらとてあらしの時竹河乃
あしのみくもとてりらん

エタノ

山名

もみく山

偃る末竹川のしけつめるむとに

山吹

菓鳩

色白

あまの集

あまの集を三つしやんを
こりててふたをすく
すのれをすくはらひのよきまを

流原宮

伊勢

度會歌 一神止

まじり

あまの集を三つしやんを
あまの集を三つしやんを

流上

流上

万三

アサノ、能子

哲人

流浦

大和

アサノ、能子

アサノ、能子

アサノ、能子

竹田

大和

十市歌 一沖社 延喜 藤田 田尾 延喜
万石 延喜 延喜 延喜 延喜 延喜
女子 天歌 延喜 延喜 延喜 延喜
すわい子 延喜 延喜 延喜 延喜
すわい子 延喜 延喜 延喜 延喜

流川

大和

万十三

名考

あまの集を三つしやんを
あまの集を三つしやんを

當

大和

あまの集を三つしやんを
あまの集を三つしやんを

竹都

伊勢

新注撰

あまの集を三つしやんを
あまの集を三つしやんを

流門

大和

あまの集を三つしやんを
あまの集を三つしやんを

竹下

お摸

ほ拾 新町の山乃おれはあつて
「アツク」竹の下みり

核 冥 花言

ふつかき

武隈

陸奥

ほ撰 元能

うらやまやんりん武隈の
核をていしあひいつる

辰 月 雷

友部 辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷
辰 月 雷

多胡入堂

上中 橋山 数字 意圖

新古今

昔のてを以て凡ふておれ
この入也よつてありせ

東のふたのこいんはあつて
こいんはあつて

多紀郡

舟後

懐中

つらつら紀の氷も今やそららん
んとしてる多たうな

絶等寸山

懐中

橋山 舟後

百九

多ゆ紀の山のその乃橋花
さつてまへはるそつてん

多由良

未劫

但馬國 名田分試あへたは橋

多ゆ紀の山をいつりつて
あふせふつりつて

手結浦

秋野

延喜武田備神江
敦賀

百三 秋野 舟一
おれつてのつていひつて
あつてつてつてつて

多比浦

未劫

あ三十五
を山松

あつてつてつてつてつて
あつてつてつてつて

旅后里

未劫

あ三十一

あつてつてつてつてつて
あつてつてつてつて

使中

未劫

あ三十二

あつてつてつてつてつて
あつてつてつてつて

使浦

未劫

名号

あつてつてつてつてつて
あつてつてつてつて

多胡浦

越中 水海

か 龍一 ヲコチ ヲコチ

拾遺 多胡のの座を白くを依て
あつてつてつてつて

破松

入江村 辰 月 雷
ひのけ 郭 氷 不 ちん

九月 古村 辰 月 雷
苗代

田新浦

駿河 塩海

風土記
イホ本歌田子

古今

あつてつてつてつてつて
あつてつてつてつて

辰 月 雷
あつてつてつてつて

あつてつてつてつてつて
あつてつてつてつて

介
不
卷
王
月
後
多
多

田 藁 鴻 物 誌

在
今
五月
の
後
雨
霖
長
雨
藁
香
芦
一

玉置山 伊勢 素名敷
凡土記云山少樹木又乏禽獸

田鶴濱 日
同云有民戶海苔色青而連綿五尺餘
土人食之飯飢

玉手森 日 負每敷

同云は表出名草又多法馬

玉置山 尾張 海戸敷

同云出鹿狽在神号道主命亦有一石
昔人云赤白生之不落也山麓有星池早之
常宿石也亦有怪石星之石化之石今猶
星落焉

岳置山 日 日

同云出野狐廉免松柏木

玉村郷 日 日 下農

田根 近江 後井敷

同云貢枹枹柚檜法鮮臭遠以多不

玉祖庄 何内 言由敷

同云貢鶴鴨雉木又桑麻白綿等

一神社 日

同云布祭玉依比咩也天智天皇九年始奉

圭田行神礼 神名帳

大洋寺 香泉 日根敷

同云大宝二壬寅年八月鈔光比在為救世
摩利成迴圓終焉於以寺自刻二菩
薩像安在寺

建部郷 或作戶 伊勢 安濃 和名

同云貢松柏杉石海塩法多法鮮臭及
苔貝木類

宝田寺 日 日

同云文武天皇三年四月台道昭和尚完基之地
田尻郷 伊勢 交安殿

同云貢松杉梅梨木

孰賀師神社 日

同云欽明天皇三年始祭此神大己貴命也

隴祭宮 駿河 山ノ下

同云与伊勢同神也

大分市川 尾法 和栗殿

同云出年奠美鯉鮒氏人以真人取
取之用之民家之慶為富以奠替年
祝

言師山 伊賀 隣伊賀山 一里肥田川

出名法川落釜末川多出鮎鮒木又出怪石

田守山 日 神名田守神社

同云出松杉多異禽有神号田守明神
亦祭別雷

玉地伎里 日 山ノ下

同云中上肥也有神号天皇所祭應神

天皇也

竹原郷 日 山田殿

同云修竹多

玉井郷 日 日

同在郡東北土地富饒有神日植村後也

田中神社 日 山ノ下 神名帳

同敏達天皇四年乙未六月亦祭宇介

御靈也

他伊原 或橋原 坂内 山ノ下

高橋 日 山ノ下

礼

同貢澤科鶴一川奥ホ
田子里 或若屋里内郎

蓮臺地 山城

ふらふらとまんぶのにかうりけ
わらふとまんぶとまん

龍御山 未初

せうれぬまの地はのほとくま
をさうけりてりてんぬ

蓮池寺 在奴 十八日

凡土記之行基定基之地而有自作之
寺佛

曾

素戔嗚河原

大和 言部郡宗系坂庚神は
おまおまおまおま

曾也原

法園

種我園 山城 久世郡

畠武内宿禰軍士人多枯死出屋財
賄之武内荒住之後奈茲 凡土記

若宅母足

未未未 凡土記
北名北名 凡土記
ソレモヤハシラレル

後古今
五月

あまのりその川邊
かすかすあまのり

ソノ
百三十一
後

新名津原

橋の出入名也 北名
祖神名 大和宮上郡 和神社 古事記 高城宮 津原

園 韓神

山城

はか遠
あつたてんうぬこりて
かろくそとあつたてん

彼々原

大和 言部郡 虎方 津原也

曾乃原 信濃

伊那郡

信濃 曾乃原の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

曾比浦

石見 楠山出地名
名寄地は山名

土地のさかしのついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神河原 山城

山城 神河原の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神渡

信濃

信濃 神渡の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神久良色 山城

山城 神久良色の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神浦

出羽

出羽 神浦の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神宮

紀伊

名寄地

紀伊 神宮の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

副山

因幡

因幡 副山の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神津

筑前

筑前 神津の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

曾武起乃崎

未印 但馬

但馬 曾武起乃崎の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神振山

大和

大和 神振山の神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

齋院胸副國

以上同巻

夫十八 神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

神のついでに
あつたまては三河と云ふ
川にさす

百三十一の...
は神川とて神方とて...

神師浦 出

は松遠
か衣神のうらうと貝
むらさきまのうらうと

産 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

深川 筑

後撰
はくろろろろ川海りか
そやろろろろろろろろ

み

言

虚空見日本國 神武紀

層々岐野 神功紀

死縣 應神紀

素珥山 仁德紀

栢曾山 尾張 海鏡殿

凡土記云出名材松枝多禽獸驚之也在
神号松田神三保津姫之神所化也

杜郷 日

同云 下農

宗立寺 在江ノ千餘

同云和洞二年新羅直映安置某師佛
十二尊

曾能郷 和名 日 不夕殿

同云公穀一假粟貢栢樟鶴鷹鹿草
黄芩木

山宗園寺 日 茶系殿

同云龍伯僧都居之假夏之室也

袖師浦 波河 六上殿

同云以自鳥渡溪以東号袖師浦
憶良以盧濟為連景
万葉集中山上憶良以袖師浦盧濟
為連景欣逝可考

宗隆寺 日 日

同文不解

袖師洞 日 不サキ殿 或佐惠田乃洞

同云海岸如立屏風驛馬浴浪
淨見要害也

新田 朝
...

壺碑

ツボイイラミ

新古今

みらの乃いそそまふいそそ
外についでつたれい

介方
...

鶴岡

ツルカサカ

古候

新松遠

はらうそまふいそそまふいそ
まふいそまふいそまふいそ

新

柳宗

郭云

...

海石福市

ツハイチ

万十二

大和

武烈紀お出山也故通用明推古紀
市取ミアリ意行紀表ミアリ
はと市の乃乃ちきくはさう
ひそいひもこまかきと
驚ハ必ききめをほこいら者
千のちまたあつるるれ

双池

大和

万十二

一修後 存之反

こころと池の池のこころ
たが水の水のゆるる

鶴悦

万十二

未記

但年四 橋上或甲斐

あつるのつれつこのあつる
こころと池の池のこころ

...

鶴郡 甲斐

石橋

新千歳

村ヶ

小若三 粟 白土橋

君が代は侍の類もあえてまゝ
いさゝか紀ふのさういふまゝ
まゝであいのちうひもまゝ
つれづれなりまゝいふなり

敷賀

敷賀 敷名 昔 蒲麻上三

長持

秋とのいさむつあふま
ふのいさむつあふま

津田細江橋

後長

凡かき侍も人をつつれ
けいめいといふまゝいふなり

鶴里

お宿 徳田方松 夫三 夫中

夫三十一

君が代は侍の甲なるあつれ
いふれまゝいふなりいふなり

鶴鳴

出村

名考

芦の侍もまゝいふなりいふなり
まゝいふなりいふなり

結打山

渡後

名考

いさむつあふまのいさむつあふま
いさむつあふまのいさむつあふま

津平橋

伊藤

名考

あつれいさむつあふまのいさむつあふま
いさむつあふまのいさむつあふま

津野橋

出村

天明記津野城表

綴花

山崎 郡名 仁徳紀前城

五月由

芦

あき 浦 舟

後長

五月の内、まの末乃秋の
いさむつあふまのいさむつあふま

岡井濱

未切

敷賀山 名考 徳田方松 夫三 夫中

夫三十一

いさむつあふまのいさむつあふま
いさむつあふまのいさむつあふま

都筑

武原

管本橋 未切 名考 徳田方松 夫三 夫中

夫三十一

いさむつあふまのいさむつあふま
いさむつあふまのいさむつあふま

地

山崎

中崎 名考 徳田方松 夫三 夫中

大和御後監令ぬつみかたけあつれ
いさむつあふまのいさむつあふま
いさむつあふまのいさむつあふま

鞆

肥後

鞆山

丹波 或三 夫中

金宗

まの末乃秋の
いさむつあふまのいさむつあふま

拾遺

馬のこゝろつゝの海を渡る

寺之集山風... 寺之集山風... 寺之集山風...

報言

報言 報言 報言

拾遺集

かり火のふゆ... かり火のふゆ...

筒中嶽

肥后

拾遺抄

かり火の... かり火の...

筑波

巻

馬のみの心... 馬のみの心...

初々美井

未印

名伊勢 橋石

水とまき... 水とまき...

報言

信留

林をたまり... 林をたまり...

躑躅園

陸奥

古伝

みちの乃... みちの乃...

初祿

未印

任磨を備... 任磨を備...

續延山

大武佐

初武姫

未印

但東園

はむの... はむの...

角麻溪

未印 今敷

この所乃... この所乃...

角浦

石見

石見の海... 石見の海...

角鴻

高

延正武... 延正武...

筑摩

巻

拾遺

いづも... いづも...

ミタリ... ミタリ...

介 志本 鐘 部 胃 鉢
カサ 尾花 ロシ 彩 彩
橘 声 川 ツクニ アニ
川 入 川 ワナ ナ キ
ミクリ スワ 芦 芦 芦

カニナル... カニナル...

月

ミタリ... ミタリ...

ツク川 コシ 鯉 池

東間湯 信濃 天武紀

信濃 天武紀
つゆ湯のこころかたむく向ふ
うらんだぬゆきとちけ

攝津國 秋 所いものさつ入ねのちか
たにまきりくたつこりり

せん人九佐子 出つの家いつくく
ころ 水のえんいさす 但来水
万六ツノミン出チキサニ舟ヨソ

月林 山城

拾遺 切つりさし種のみし
月のまのつまりねん
右方 信濃 月帰るヨソ
けりまらてまうてまら
けりまら

右方 信濃 月帰るヨソ
けりまらてまうてまら
けりまら

角松原 物部 式 武庫郡 名次神社

万三
アノソトメ イナリタクガ オホシノ
つよこたのいさか
つのおりいつま

角刺宮 大和 名所

名所
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

津中島 名所

名所
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

机嶋 名所

名所
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

津名川 名所

名所
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

都久怒 名所

名所
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

筑紫津 山城

山城
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

筑紫園

園
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

筑紫小嶋

小嶋
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

月輪 山城

後拾遺 月輪のいさか
あつやりの座のあつて
あつて

月讀 伊勢

千載 月よみの折つて
あつて

月出崎 名所

名所
アノソトメ イナリタクガ オホシノ

新拾遺

そりくしやうるんやうるん
月出るるのちのつる舟

津守 揚伴

十載

ふくくとけりのゆきこきゆけい
きりけまつ風ふきこきなり

月

雪

をりやまみ

大舟

一舟

浦 廣田

書止り重 未考

百六

書園

未考

書意山

未考

名考

夕月 秋のこころのほろ意乃山

書木山

未考

夕月 秋のこころのほろ意乃山

厨鶏中

大和

未考

夕月 秋のこころのほろ意乃山

菟織也

揚伴

津守他

仁徳紀廿八年三月三日出
揚伴八田村美村アリ

未考

夕月 秋のこころのほろ意乃山

柘菟山

伊賀

夕月 秋のこころのほろ意乃山

未考

津振川

天武紀

揚伴

未考

夕月 秋のこころのほろ意乃山

月讀里

名考

未考

夕月 秋のこころのほろ意乃山

月山 出

夫木出

夫三十
久西の月れいふあやうて
入時うたへけをいふか
うのや

月吉里 義儀 丈

あ三十一
かきかえしり入し物たのあ
人かちりり 月吉のこ

楓曲
三子家 用明紀

赤鳩 出

又三十二
あさしたに地をうけり
玉とけりいふあ
あ玉せあかかおのうつと
いふりれもいふあ

津見 橋津

昌善三非名

あさしたに地をうけり
玉とけりいふあ
あ玉せあかかおのうつと
いふりれもいふあ

津嶋 伊勢

昌善考智陽新記尾法

あさしたに地をうけり
玉とけりいふあ
あ玉せあかかおのうつと
いふりれもいふあ

對馬 人集

あさしたに地をうけり
玉とけりいふあ
あ玉せあかかおのうつと
いふりれもいふあ

對馬根 志印

あさしたに地をうけり
玉とけりいふあ
あ玉せあかかおのうつと
いふりれもいふあ

角瀨山 尾張 中津郡

凡土記云出独活荒草厚朴山椒
在神号梢見吉社

柘殖山 伊賀 防年郡

同云出松栲栳苓独活等有神
神天照太神遷座之假殿也

小里 日

同云中肥也

月野世山 日 名法郡

同云有松東南多出松竹又有異禽

都宇郷 近江 信井郡

同云貢栗代湖貢

都久須麻神社

同云雄略天皇三年己亥二月始行神
礼奉主田本朝之勝地不可比類餘嶋
左也四時變系益工不可及文人不可
記者乎

角避比古神社 近江 浪名郡

同云宣化天皇元年丙辰不系素盞鳴
也角避比古者字之異名也
文正實派加祥三年 壬出

津氣里神社 日 下ノコホリ 神名帳津毛利神社

同云天武天皇二年癸酉八月所祭饒
速日言也

湖上

難波

系

祢

祢杜

志効

祢杜... 志効... 祢杜... 志効...

祢山

志効

祢山とて北名を云

祢山... 志効...

イサノミヤノ子ナサトミチ...

祢呂山

志効

祢呂山... 志効...

祢呂山... 志効...

根尊浦

志効

根尊浦... 志効...

子日橋

志効

子日橋... 志効...

又二十六

子日橋... 志効...

難波

難波

志効

古今

難波... 志効...

莫入割

志効

莫入割... 志効...

繩浦

志効

繩浦... 志効...

又三

繩浦... 志効...

奈尔池

志効

又三

奈尔池... 志効...

古今... 難波... 志効...

難波

志効

莫入割

志効

繩浦

志効

奈尔池

志効

和名中ノ上ニ被 琴 御ノツリミ 玉指
新ノ名 岸ノ全地ノ一 岐ノ 岐

カスミノ 社 一ノ浦 一ノ
カスミノ 社 一ノ浦 一ノ
カスミノ 社 一ノ浦 一ノ
カスミノ 社 一ノ浦 一ノ

名取

津奥 地名

みちねにまをりしつる川
夕にまをりていさしつる川

古ノ 橋 五月 月 糸

陽 橋

モクツノ 神ノ 上ノ 七ノ 八ノ 一ノ 陽 郭ノ 堂
フナノ 石 ヤナノ 石 ウタカタ

名取川

類字歌ノをいしつる川ノ上ノ
床のふらふら川ノ上ノ
川ノ上ノ川ノ上ノ川ノ上ノ
川ノ上ノ川ノ上ノ川ノ上ノ

難波堀江

日本紀通記 卷五ノ末
難波川ノ西ノ 難波ノ 難波

名取山

未詳 橋ノ上ノ 法ノ 法ノ 法ノ

万九

あまの川ノ上ノ 川ノ上ノ

福倉山

大和 概ノ 概ノ 概ノ

お授家集云々つてたまふ
谷ノ上ノ川ノ上ノ川ノ上ノ

鳴門

周活 石ノ 石ノ 石ノ

万十五

大徳ノ一浦 川ノ上ノ

那智

紀伊

わらの川ノ上ノ川ノ上ノ

陽 橋

月 一ノ 橋 浦ノ上ノ 橋

鳴門

河渡

なる川ノ上ノ川ノ上ノ

浦ノ上ノ 橋

鳴尾

橋津

けつをハカシメの川ノ上ノ

難波堀江

日本紀通記 卷五ノ末
難波川ノ西ノ 難波ノ 難波

名取山

未詳 橋ノ上ノ 法ノ 法ノ 法ノ

万九

あまの川ノ上ノ 川ノ上ノ

福倉山

大和 概ノ 概ノ 概ノ

お授家集云々つてたまふ
谷ノ上ノ川ノ上ノ川ノ上ノ

鳴門

周活 石ノ 石ノ 石ノ

万十五

大徳ノ一浦 川ノ上ノ

那智

紀伊

わらの川ノ上ノ川ノ上ノ

陽 橋

月 一ノ 橋 浦ノ上ノ 橋

鳴門

河渡

なる川ノ上ノ川ノ上ノ

浦ノ上ノ 橋

奈流世

未詳

けつをハカシメの川ノ上ノ

沖浦 松橋衣 イコニ 而

不
交ナキ松 和田合月 赤言 泊 千言
郭云 耳

鳴海 尾張

尾張 尾張

尾張 尾張
尾張 尾張
尾張 尾張
尾張 尾張

鳴瀬 山城

ヨヒツキノニ
尾張 尾張
尾張 尾張
尾張 尾張

那賀 紀伊 郡名

尾張 尾張

中川 尾張

尾張 尾張

中山 尾張

尾張 尾張

中麻奈 信濃

尾張 尾張

中津 信濃

尾張 尾張

鳴瀬 紀伊

尾張 尾張
尾張 尾張
尾張 尾張

中川 山城

尾張 尾張
尾張 尾張

中杜 尾張

尾張 尾張
尾張 尾張
尾張 尾張

鳴海 尾張

尾張 尾張
尾張 尾張
尾張 尾張

半木宮 山城

尾張 尾張
尾張 尾張

7斤
シノ名子ノ
長

長演 意

新松達大永橋井を以て作らば
そのより代たりありて
心人
百八
聖武天皇御
中

長演 伊勢

長演代はり
すここの子
浦

三〇年延喜十六年四月ナ
いでの
長演
イカル貝
ナカノ貝

長尾村 傳

新松達
ふくの村
なり

長田村 丹波

新古今
油代
との

長田山 傳

千載
あ
あ
あ
あ

長柄 傳

十洲抄
水
水

長演 越中

百十七
松
長

長演浦 徳也

百十一
ア
長

長門 人

長門浦 廿

百十二
小
口

長沼 未

百二十
口

長沼 未

百二十二
口

長尾社 山城

百二十一
口

長尾山 丹波

百二十
口

右今 ありてなるの橋乃ありて
こいひるに年々(よん)

橋 渡 辰 廿月 月

音 長 七ノカケシ サレ石

一を清き池 一は橋の 十を 大
又(一)のちこれ六(一)のち橋にたつた
一浦(宮) 橋(池) 木(カ) 川(川) 橋(津) 五
一は(一)のち

長等 石 志賀山(長谷)

ほ 橋 ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

山 尾上 橋 月 時白
松 糸 雲 苔 山

雷 文田宮 一三四河 ナカラ
一浦 一橋 一村 スカノチ
は花 カラシマ 一フキ 一松風 一

長岡 山城

五社乃そ ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長谷 山城 電岩

又三十 人れいのち長谷山(一)のち
イハク川 八八長 又(一)のち

長田 出で

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長田里 石

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長田杜 伊賀

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長等園 未印

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長柄池 大和

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長良村 丹波

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長邑 石波 允恭化

長等川 佐仲

風雅 及人のよらひしをこれ月乃
なうこれ川のさうなる

長村山 石

後存松 又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長尾浦

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

伊約 十多 月 舟

又(一)のち ありてなるの山井ハ
ありてなるを折してより

長津池 名

凡箱 意君代のちうれたりとも池の
比のあややはけあひり

長井池 橋

又三十二
そのくしのちうれたりとも池の
比のあややはけあひり

長例

橋

於遠 人志ね甘あつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

長居園

赤

又三十一
野口 甲
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

長居里

赤

又三十一
野口 甲
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

中川

山城

長松遠 中川より田井のちうれたりとも池の
比のあややはけあひり

長井

橋

又二十六
長津池 橋 神功記
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

流江

伊勢

長松遠 中川より田井のちうれたりとも池の
比のあややはけあひり

長坂

山城

又二十六
長津池 橋 神功記
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

長峯山

名

又二十六
長津池 橋 神功記
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

名高浦

紀伊

又二十六
長津池 橋 神功記
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

夏箕川

大和

又二十六
長津池 橋 神功記
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

長志沼

橋

又三十一
野口 甲
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

長峯山

丹波

又三十一
野口 甲
これくあつちりかこつちのちう
うらうらみて神とちうら

彩古今
これらうらうら川の川流
鴨やうらうらふらふらて

菅 日クラシ 五月旬 月 鴨 氷

フナリノ赤上 時由 一ノ上山 山
カケミエ 山ノ上ニテカケミエ

七社

彩古今
月 三テ
つゝあひむら此社のゆゑに
ついで六のみらうらふら

ナニス沐

七瀬浸

七瀬アルヨトニテ九名不
あす川と流れてくたやれの
いづつまはこゆる月日なる
とせりやわれうらうら神めれて
やせれいづれやうらうら

七久里湯

信濃
七久里湯
作れもせぬまはうらうら
うやせりのいづれなるらん
は松遠

奈良

大和
今
あつちうらうらうら
さかきうらうらうら
月 梅 志保 佐保

奈良 思 柳 榎
板 萱 柳 榎
竹 心 多 栲 栲

一人
江 友 春 秋 床
河 梅 奈 音 立
万六カラこれキナラノ
日十二夜表キナラノ山
ナラヲ山ニテ山ヲ神ナル山

長彦山

又二十
より海なる長彦山の
ちとせれをさるるうらうら

長例湯

又二十六
又本山 但うらうら
君代ハうらうらの
あつちうらうらうら

灘海

又二十ニソレ
浦
但断海一浦一の仲空行
北名和を 日一紀一縣一川アリ
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら

谷立浦

又二十
近長三ノ八故は四一澤アリ
信濃國一神アリ能國有松安彦
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら

奈良白梅

又二十
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら

取豆破田

又二十
古中
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら

谷次山

又二十
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら
あつちうらうらうら

楠小川 山城

今
この川をわたりての川乃は凡そ
いづれもゆるゆるとたけしと

夏実浦 紀伊

今
今日

その川のまはりに
あひまゆるゆるとたけしと

那良志 大和

は
吹凡とわたりて此の川乃は凡そ
いづれもゆるゆるとたけしと

后母川 陸奥

みらねの川の
いづれもゆるゆるとたけしと

カ
カウ
山
布

七越 紀伊

山家集
七越の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

雙園 山城

今
この川をわたりての川乃は凡そ
いづれもゆるゆるとたけしと

名越 紀伊

山家集
名越の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

名草山 紀伊

今
この川をわたりての川乃は凡そ
いづれもゆるゆるとたけしと

名取山 筑前

山家集
名取の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

並流 紀伊

山家集
並流の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

奈毛木 大隅

今
この川をわたりての川乃は凡そ
いづれもゆるゆるとたけしと

并宮 伊勢

山家集
并宮の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

名越山 未詳

山家集
名越山の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

今
この川をわたりての川乃は凡そ
いづれもゆるゆるとたけしと

并合 伊勢

山家集
并合の川乃
いづれもゆるゆるとたけしと

奈良

中

金糸
河内
中
内
鴨

那古

那古
極

新在
後
以後は模の奇蹟字に中奈良入

奈良池

郭今今うは月一初とあり
おのりけいけとありありあり

奈良加

なごさすをいふ人いふわ
わをそなくの浪のきり

松子山

子
おのりけいけとありありあり

奈良海

ひさし
ひけそた
在明月

鉦水門

奈良

陸奥

花
花
花
花

波

波

あふたふたのゆき
世の中たててこれたうせは
まの心のけいけい

情

たごさす情の
おのりけいけとありありあり

那紀川

おのりけいけとありありあり

法

おのりけいけとありありあり

哭

おのりけいけとありありあり

鳴

おのりけいけとありありあり

ヨミナラオキノカモアリテ
ナカニミナミキリニミナ
川ニシヨコシハ何日ノ
ナカニミナミキリニミナ
大分ノ海島ノ事也

杜 松
尾 松
舟 松
舟子 松
舟子 松

連庫山 名

ナミケラ

山

山脈やなごの山とてあては
あうあうふふれつてこ

湊川

伊勢

舟

舟をここのせはくさすりつ
舟のゆかたの舟をよ湊川
舟の神へなるとりつて

舟

舟

イセノ舟 イナ舟 玉カシハ ヤナ
舟ノ火 舟ノ火 カモ

那須湯

下池

延壽寺

那須郡温泉神社小

松達名へはふかたへつ断りよ
りたれりせりもあひまの湯の
よりの松達名へつ

又云

ナカニミナミキリニミナモアムソヤ
人ヲハクニミナニヤムノ

ナカニミナミキリニミナモアムソヤ

ナカニミナミキリニミナモアムソヤ

名寸隅 情

万六

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

舟

浪愈浦

筑前

名寸隅ノ事也

万三十五

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

湊浦

丹波

万五

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

名

名

湊津

又云

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

又云

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

湊池

赤部

万三十三

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

雙槻宮

大和

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

奈美乃那浦

赤部

名寸隅は舟をここのせはくさすりつ
あうあうふふれつてこ

浪家野 大和

ナシハラ 月 二十三日 上 麻

梨原驛

和名栗本郡

夫世一 云つりわわゆかきひの
うまひていんういひたる

形須池

池

名号 アラシ カリ人 ころクサ ヲレホス シノホ

形須湯

信濃

夫二十六

あちのなまのこゆまあまら
人こころこやまひあひく

奈志小社

奈本七社也誤名奈志

成田御

尾張中務郡 中農 凡志記

中村御

日 羽栗殿 上農 日

中之林御

日 日 同

莫手御

日 日 同

中川

日 日

風土記云出鮮魚河意多出柴胡奇石
民用少在神号連佐須神社以六月廿
六日祭之

長田山

上三巳出 一里 上田也川出細魚

中井山

伊賀

同云出松竹多産茯苓

名張御

日

同天下之中郡也東限早雄川西限系川

南限中山北限角神是磐余度天皇
御宇見聞人之所知也其時屬伊勢國當郡初
者御名也号其名張鄉者字足間人知之
終三月才不納其年貢仍而名討者知
此鄉云声之悟也号名張鄉之名基也
土地富饒而民用多也亦出松竹名材
異禽異獸菓草亦山穀五十三川穀十七
里數莊保共七十二所也

中鄉

尾法出戶

上農

長見鄉

日日

同

中鴻

日日

同云 畧書出楮竹柴胡大根胡麻木神
社七箇山之穀十二鄉穀七十村之穀三十
川之穀四箇

中乳山

日日

同云出狐兔亦独活山椒 鐵交

中村山

伊勢 京名郡

同云山竹木蟹蔓

中村神社

三座

同云秋九月草木黃色則年々山上鳴動
數日則以時祭以神今九月中子或初
子祭之也

永山

日日

同云山有松竹不交

潮干神社五座宮尾崎

長師山

尾法 海了

一本作畏
同云出名竹又多麻裡有芙蓉下五毛
中畧有花四季結花實依潮色退
花實互裱潮之進時花實退時
實結其花似菊花實似棗子醬

家取之用疾働匣裏神功也

埒馬郷 日 中略致 上農 凡志記

礼拜郷 日 羽栗致 日

成瀬郷 意以 了了了 以御和名神名亦不見

同云云穀 假粟 貢松

梅以梨荒葡萄瓮豆薯蕷夜干防

已山椒附子木菜物充主菜司料

奈也河 日 日

同云出奇石如志嘉鴨鷺其流落入

海源自阿曾能嶺出漲達洪水虫

舟楫未可及

中鴻 波河 六下ノ致

同産棟実梨桃梅蕨松枳木

直日神社 日 日

同云所祭于力雄神也

長澤 日 日

同云貢五穀棉麻木

神社 日 日

同云奉祭皇天靈尊也 以上取用

中河内 日 安兵致

同云貢菅粉蕨鮎鯉松栢杖樟竹

柴木役府舍

良

来迎院 駿河 イホウ院

同王記云天平宝字二年戊戌高寛沙門
冥基之地也安三十三林佛

武

室戸 土佐

新編... 室戸の... 土佐の...
むら... 室戸の... 土佐の...

室泊 情戸

新編... 室泊の... 情戸の...
むら... 室泊の... 情戸の...

室積 園防

新編... 室積の... 園防の...
むら... 室積の... 園防の...

室山 大和

新編... 室山の... 大和の...
むら... 室山の... 大和の...

柵生 情中

新編... 柵生の... 情中の...
むら... 柵生の... 情中の...

室生 大和 城下

新編... 室生の... 大和 城下の...
むら... 室生の... 大和 城下の...

云代志木村宮浦三武氏の邸乃ひらりて

室八鴻

白花
五月旬 音 叶な

牟婁那

紀伊
むらぬいぬいづつてこころにあらわ
むらぬこころいづつてあらわ

向園

武蔵
むらのむらの星乃若るんて
ねと ちのちあられ

室原

大和 城下郡 孝安天皇を祀地
むらぬいぬいの毛桃の葉
むらぬいぬいの葉

武倍

信濃 長引郡 佐中佐子伯ノ同アリ
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

武倍山

未詳名
人なりむらぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

武の布里

未詳 武倍山右の武倍山に在り
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

昔川

淡路 昔川
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

向日山

山城 日向
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

武倍の園

人丸集
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

宗像山

筑前 郡名 一大神アリ
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

六田

大和 千載
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

村雲山

丹波 空閑家奇合
むらぬいぬいの葉をあらわす
むらぬいぬいの葉をあらわす

紫野

山城

鹿 柳 五月 宮 橋
水 舟 三 院

川 三ツツル ナテナス

花のすれんてもわさひさや
まれすこし切てうんい
ゆるのよこてかてとちかて
くひしゆあつたのよ

万三 藤 一平 藤 友 貴 友 貴
万三 天智天皇を以て満ちてすけりたすけり
ぬくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

後五介 此れゆきあつたすけり
はす万葉とて山城のあつたすけり
山城入心院

村松

鹿 雨 川

蛸貝の声くさくさ
きくさくさくさくさ

武良自磯

万三 藤 一平 藤 友 貴 友 貴
万三 天智天皇を以て満ちてすけりたすけり
ぬくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

半也半也園

万三 藤 一平 藤 友 貴 友 貴
万三 天智天皇を以て満ちてすけりたすけり
ぬくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

武苑

万三 藤 一平 藤 友 貴 友 貴
万三 天智天皇を以て満ちてすけりたすけり
ぬくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

武庫

掛

信玄のえあつたすけりたすけり
むくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

結浦

社堂集たらすけりたすけり
むくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

武苑

武苑

古今 秋 藤 一平 藤 友 貴 友 貴
古今 天智天皇を以て満ちてすけりたすけり
ぬくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

結宮

紀伊

万三 藤 一平 藤 友 貴 友 貴
万三 天智天皇を以て満ちてすけりたすけり
ぬくこのあしひのゆきあつたすけり
いづやあつたすけりたすけり
あつたすけりたすけりたすけり

村松

或色松 疎河 山ノ下
凡上云食塩十七段但半別供内膳司
海料十二段

堆 野村 葛 山梨 蔵 若菜

介 かんろハカリヤキ 主 佐
一 振カマコ 口モカウ 一 凡 茎が茶 菊
虫 付角 白クワ花 赤クサ
人 念集 鳥よりとんけてた子より川の
心のをよてあはれいふらん

席田 夏濃

新和撰 月 氷 伊賀川
ひあ田よむれあふふのあまら
君よりいよよとていよよとて

書 一 五中束

虫明通門 飯

新和撰 月 氷 伊賀川
清なるさむし「暇のせむし」の毎の
多(ら)うまは仲つた風

結神

介 月 氷 伊賀川
あふれ結のつししうりさ
つれなれ人さあふつらん

宇

有度 漢 駿河

ほみ遠
うしろ海ふ天のしんれむし
ありらん神やけのさうこ

アソフカキ 伊賀川 十巻

打出 漢 吉

氷 志賀 サラナニ
あふれうらわのそらけうらわて
うらわさすひのこころを

陸仙(二) 口より海 麻のゆき 芳
白波ノ 香 楸

上 頼川 伊勢

うを川にれんしあふら
わくと人のたのめゆれや

上 方山 對

あふれうらわのそらけうらわて
うらわさすひのこころを

上 野 山城

あふれうらわのそらけうらわて
うらわさすひのこころを

宇治

山城

久世

古今

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

風正宇治は北土樂胡

氣運宇治川宜之

而往還西度又元

橋

川

橋

山

山

月

橋

橋

細代

布

湖

川

川

山

外

川

山

堂

舟

水

堂

舟

水

堂

舟

水

宇治河

大和

名号三三三信也但至道南國より

後

今

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

香

上野

紀伊

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

上野

和泉

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

植安池

大和

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

宇治

肥後

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

鶴殿

橋

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

宇治山

伊勢

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

宇治山

名

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

宇治山

名

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

宇治山

名

名

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

同野

大和

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

新

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

凡生山

山城

新

宇治の川をさかのぼると宇治の山ありて

切

花

音

山

山

山

名

名

名

名

名

名

宇留馬 義濃

是流のこゝをうりあし
りよ人のあれしうりあ

宇留河内 外國語名

我々河内の流人へはなれ
てこれ人のあれしうりあ
りよ人のあれしうりあ

漆川

名ふはしとてし
ますにうりあし

宇和郡 伊豫

玉京
いよの國うりの歌の
あしとてしうりあ

宇陀野 大和

後撰
うりあしとてし
あしとてしうりあ

短 香 香 香 香
か 大也 萩 麻 一三三 某カリ
カレシハ 名も 多立 香 月 柴
ウツクワロキニシキロハルワツマ

宇多氷室 山城 葛井

はなれしうりあし
うりあしとてし

河外宮 伊勢

うりあしとてし
うりあしとてし

河海 丹

うりあしとてし
うりあしとてし

河野 山株

うりあしとてし
うりあしとてし

打回里 大和

うりあしとてし
うりあしとてし

打上濱

うりあしとてし
うりあしとてし

賣河清水 大和

うりあしとてし
うりあしとてし

彼寝橋 大和

うりあしとてし
うりあしとてし

菟田 伊勢

ウツクワロキニシキロハルワツマ

ウツクワロキニシキロハルワツマ

彩存様
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

彩存
特 雜 7 三 菜 糗 月 吉

宇津山 陸河

彩存今
まじしはふれもと子ゆり乃
ゆえし人まわらむらり
昔 月 楓 雲 雲
昔 月 楓 雲 雲

彩存
社 橋 鹿 寺 倉 一
時 高 鹿 倉 倉 倉
鹿 鹿 鹿 鹿 鹿

大秦

山城 古名峰園又秦
彩存今 例まじしはふれもと子ゆり乃
こまかきくわしりれ

花 秋
かじつりたれもたれも
表みてもたれもたれも

彩存今
彩存今 人心まじしはふれもと子ゆり乃
彩存今 人心まじしはふれもと子ゆり乃

宇津野 色白

彩存
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

彩存
二 月 麻 冬ノラ田ノ
あまの 羊 家 胡ハタケ

浦初鴻

彩存今
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

アカツキノ名
明わのまじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

宇多松原 土佐

土佐
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

歌万驛

土佐
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

歌極村

丹波
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

歌鴻

名場
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

宇多女山

名場
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

宇豆保鴻

名場
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

打歌山

石見
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

鶴濱

能登
まじしはふれもと子ゆり乃
うのいむられ桂の下を

介 鹿月 寄 千多

浦嶋 丹后

ほ様 あけてなほ何よりいそ水乃の
うづつの子をゆひやう?

月 一子兵 ねむの山 鹿

松介 貝 アニキー アニトニヤ
カマツリ 朝ソリカチテ七日ニ家ニモコステ

卯花山 越中

卯花山 越中 卯花山も家持地之山越中詠
アルニコレリ元来名ホニテ詠セルニ
アラヌ 卯花山まゝ卯花山ノ歌
卯花山まゝ卯花山ノ歌

月 雲

百七家持中ニテ卯花ノ山ニ卯花ノ山ナル
星十七地ニミツタセ卯花山ノトキス

怪中 三を築うりにとハ心そぬふいせいつれ
うつろぬとこはくろくろく

宇津美 尾張

あちうに浦はなねのまきえて
時をうこの仲ついかれ

畝火山 大和

雲のふもろいけけのひやま
こころのうらみあきらましくも

鹿 鹿ノ本 井川 寄 雲
池 推古尼 トカノ本 カミハ 宮 玉タスキ

海上浮 上総

八重山珍 仙定珍 尚國有海上部
あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

舟 鹿 鹿ノ本 井川 寄 雲
池 推古尼 トカノ本 カミハ 宮 玉タスキ

淳田杜 大和 敷草山城

あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

大荒月 五月の 時角 糸糸
子苗 苗代 糸糸

このうへ地 月 推草 部云
あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

淳草 陸奥

あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

鹿 松 塩倉のうらみあきらましくも

沖津 八ノ舟 五ヨル波 花
カノセ中ニツルナリ 清も浦を眺み
一ノツル 陸奥ノ浦ニヒカサ 寄

怪中 三を築うりにとハ心そぬふいせいつれ
うつろぬとこはくろくろく

宇津美 尾張

あちうに浦はなねのまきえて
時をうこの仲ついかれ

畝火山 大和

雲のふもろいけけのひやま
こころのうらみあきらましくも

鹿 鹿ノ本 井川 寄 雲
池 推古尼 トカノ本 カミハ 宮 玉タスキ

海上浮 上総

八重山珍 仙定珍 尚國有海上部
あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

舟 鹿 鹿ノ本 井川 寄 雲
池 推古尼 トカノ本 カミハ 宮 玉タスキ

宇奈為 上総 赤城

あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

卯花手杜 大和
多市歌和名云雲柳宇奈天

あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

菟名日 松尾 桶山

あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

宇奈為 武尾 桶山

あちうにうらみあきらましくも
あちうにうらみあきらましくも

浮嶋系

浮嶋

新和撰

新和撰の浮嶋系はこゆる志のりよ
一ひくすむうり 戸うり

馬士

香

月 松

ふる みる

石見

尾花 尾花 三河門 柳

浮奴池

石見

八雲

後撰撰

おかてうたぬの池乃あふら
川人なるさねをつつたさぬ

百七

又君かたメウキマ地ノ差トトカ深ニ神ヌニヒカチ
水アサキニホノウキヌ池ニ 姓

宇佐宮

佐々

百十

ふたつらひを所てとさき乃
いふ人にとよあふらこひ

昌喜考万二死奇 石見ノ海はのうらで
海をこけてわさふのあつをうらとさき如字
内さこふれは流むを死ニケノ宇奈比ニ推考
但万於に左に右九そ武意國奇

宇奈比川

秋中

初名射水敷宇奈比川

百十七

宇奈比川はキセフトニ川をら
かゆこくゆきこつれも

浦田

浦田

未記 但地左記

丈二十三

凡わけいうたぬ池ニ入らや
方の球乃陸産する人

浦田

浦田

山家集ひふ川に下りて浦田のうら人
志乃風あつてり人ふさうあつて浦田
うらにたすものあまふゆてうらひけとこ

梅津川

山城

拾遺

合記

名のうてあつてもふとあつ川
わさたの水もとれいなり
かそのうらのお社あつたれ
うら乃梅はあつやうら

介

トモス務母ノカリ モノツ

梅宮

山城

新撰撰

梅宮今御座る乃あつら
たてをあつたさうら

宇良能乃山

未記

但本國橋の信濃

百十

うら能乃のうらつてうら
うらうらうらうらうら

浦安國

日本國号

丈三十

浦安國はうらつてうら
うらうらうらうらうら

上平山

大和

名

上平山はうらつてうら
うらうらうらうらうら

恨山

信濃

丈

恨山はうらつてうら
うらうらうらうらうら

宇良右乃山

信原 うらみね

天二十

あつれいれうふらうんれあふらうふらう
まにまに絶善の家前公法橋初に寄

恨坂

未劫

わ尹千巻

ほれらにあらは坂本のうらまをて
このいさめをいれまらぬ

宇良良津

未劫

秘宮女の集

うららのうらまをいれまらぬ
ひらくそこのうらまをいれまらぬ

今葉マシワカノウラトツ、キオラノヤ、コチコセ山
袖フル川トソノタルカカリ、三津ノ原、河カクシタル花

鴨原

山城

延喜式正六山城鴨原寺科地一册

天二十

あつれきたのりいそつれら
いそつれらにやあつれら

鶴嶋野邑

河内 文芸部 欽明紀

鴨坂川

越中

婦貞歌 神名帳鴨坂神社アリ

百十七

うら川のうらまをいれまらぬ
あつれのうらまをいれまらぬ
うら川のうらまをいれまらぬ
まにまに絶善の家前公法橋初に寄

鴨山

大和

名或三初末也

うらわのうらまをいれまらぬ
あつれのうらまをいれまらぬ
うら山のうらまをいれまらぬ
まにまに絶善の家前公法橋初に寄
延喜式正法後或三皇日卒河坂上後皇日卒河宮西宮
同化天皇在大和回添工登宮ノ後トハ是ラ中ニヤ

鶯岡 内月

註園奇枕

廣賢毒集

我身もつらぬゆくを
こころもさめよらひそのま

宇麻呂多々

上総 望陀郡 日本紀馬耒田今昔望陀

百亩上徳寺

この浦乃乃ゆえに
わけてこねるいふふいふ
この浦乃乃ゆえにわくたも
ふのこころなむめりせん

馬吹山

山城

ハチツツハチツツハチツツ
神名根久世吹山神社アリ
イッソヨミミヒトヲミラス

百九泉川也
伝奇

吾草を馬吹山とて入るもの
ハのつらひやとてぬなり

馬淵

名 蒲生殿

又三十四

日よれぬさそよの浦は淵は
け一川にさめさめさめ

宇治川

名

廐坂宮

伊豫 又御明記 他又御明記 百源歌
伊香郡伊波太神社アリ

名

いそはたのいそはたの川乃
あつこつしてあつこつ

江動寺

ウツカヌテラ

月夜集

あつわやあつわやのあつわ
うつこつあつわあつわ
つとつあつわあつわあつわ
あつわあつわあつわあつわ

浮寝系

又二十二

あつわあつわあつわあつわ
あつわあつわあつわあつわ

浮津浦

未訪

又二十五

あつわあつわあつわあつわ
あつわあつわあつわあつわ

法松 月

宇美義浦 未切

又三十五

法松のれうきふくはあて
これのふの貝、いこうん

浮嶋山 何男

又三十

浮嶋の地、いづれ
浮嶋の地、いづれ
いづれ、いづれ、いづれ
いづれ、いづれ、いづれ

梅原 山城

又之集

あさり

日知居延曆廿三年八月庚寅
幸梅原言、名勝志野社神祇、
梅のむらさき、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ

梅原山 山城

長秋海草
康徳大徳
居凡頼

そのりれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ

宇弥宮 山城

拾玉

又三十四

かきくも、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ

海松院 山城

又三十九六月人海松院、
大井川、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ

牛尾山 山城

牛尾山

いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ、
いづれ、いづれ、いづれ

牛飼村 伊賀

三十一

牛庭園

未詳

牛窓 伊賀

三十一

水鶏 月 三ノアヒ

殖槻社

大和 備前郡

碓氷山

上野

碓氷郡

いづれか...
アハヌミラウシノ思ニカリハスレト
名ヲタニタテヌルモアルカナ
名主ニ寄
カニタテヨリ

一ノノ...
セトヨラウシトシヒト好カ集ヲ集ホ

湯女細社...
田中...
乃を人...
西の...
碓氷郡

万石...
日七...

梅田郷

尾港

伊賀

浮田山

伊賀

一里下肥

上山

日

同云出松竹有神号藏王権現不參
天照太神

宇敷里

日

伊賀

同云中肥也

上野曾神社

日

伊賀

出神名帳
既見上記

内田郷

伊賀

同云出楠杏柿栗木

雲宇途郷

日

伊賀

同云貢竹松桃梅木及柴胡川芎木
以下川之条下并
洪海及逆浪則郷民浴涉湍防急水

千之一者及溺死

川

同云出鮎鮒鯉鮓及松苔木

鳥渡郡 渡向

同云東限藍深川

廣野天皇四年以前以神足實為限後以

藍深川為限南限有渡濱西限正木山

右度清水

或玉潔水

日記

同云海碓之貢月科百駄

右渡山 又鳥渡山

同云炊屋姬天皇御宇秦川勝二曾信

佛願拜千手觀音像後裏右告

赴右渡山可待如教以上皆文

右渡濱

同云自久能浦至河穗吳服神社前
都行裡七里曰

内富瀬

日記 不示

浦田川

或奥田川 日記

同云貢鮎鮒川苔亦鴉飼

宇知牧

安永

同云貢寮馬并驛馬例歲信濃

駒使宿此

芸野 牧山

日記 日記

出鹿猪狐狸狼兔雉鳩葛葦楊柳

心菜木

井
井

為

猪名

猪津

和名河邊郡の赤三代実孫二良純
元曰百部編大佐良臣位傳朝臣信
猪津國河邊郡の赤三の住籠地
延喜式を傳教の赤三古神社アリ

志記のよき事なりうふし
あつしつわりの河邊郡の赤三

井
井

山 於遠
月 赤 中 休 月雨
霰 音 蔭 赤 十冬
君 無 鴨 昆陽

猪耳付

為福、一、仁正記

猪飼里村アリ

猪養

大和

城下郡

猪宮、あつしつわりの赤三
井の思ひでたせり

外麻 書コフ

井上

大和

平群郡猪上神社アリ

長くすし井の思ひでたせり
あつしつわりの赤三

井上

未記

井手

山城

井手ノ山ノミナトニアニル舟カ十ヨクセヨカタツクナ
カタナノイモリタリヤアヒリモリタリヤコトクシク
夕立 螢 郭云 川 山 川
山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川
山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川

古今

古今 井手の山は高きなり
その山は高きなり

川 水 水 水 水 水 水 水 水 水
山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川

井勢

山城

井勢ノ山ノミナトニアニル舟カ十ヨクセヨカタツクナ
カタナノイモリタリヤアヒリモリタリヤコトクシク
夕立 螢 郭云 川 山 川
山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川
山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
川 川 川 川 川 川 川 川 川 川

井磧山

志印 本山

新造 井手ノ山は高きなり
その山は高きなり

天川 月 舟

井手社

志印

今井の井の乃すれは高きなり
その山は高きなり

居醒里

志印

居醒の山は高きなり
その山は高きなり

猪田

志印

猪田の山は高きなり
その山は高きなり

井久美

志印

井久美の山は高きなり
その山は高きなり

亥鼻

志印

亥鼻の山は高きなり
その山は高きなり

井戸野

志印

井戸野の山は高きなり
その山は高きなり

院亭山

志印

院亭山の山は高きなり
その山は高きなり

一里日中肥也 川出細矣

猪川里 日中肥也

有神号猪神不祭懶織津姫也

為奈山 日名張殿

同云有郡之南多出松板

神名帳一神社

負女郡 伊勢 和名為奈階

同云東限箕田川西限貫木山南限

馱田神社北限浮木川

井上神社 日名女殿

同云孝謙天皇四年不祭園韓神

少彦名命也土地在疫疾則來此神

前掛長徑白木綿祈其疫疾

其靈驗不迴領也

猪鼻湖神社二座 在日渡名殿 入神名帳

同云景行天皇四十九年八月不祭

猿田彦也 有神家巫家祝之居

井上 波河 不サキ

同云出鈴羊角猪皮狐狸兔

犬革

乃

後瀬山 若狭

後拾遺 ほうろくむね... 月 重 時 由 づらり 東

野上

色江

名考三或中地地若狭

玉京 くらりくらあつ... 貴 時 由

能保乃山 赤部

天... 香ハ...

能宅香山 赤部

いもわ... 香...

能川 大和

の... 香...

野上

法瑞寺 山棟

法... 山棟... 花... 萩...

能宅川 大和

の... 香...

能宅 人奈集

の... 香...

法成寺 山棟

の... 香...

野宮系

の... 香...

名考三今手...

名考三今手...

此口譯 用防 玖珂



野田

か ぶ 雲 春 振 サニノ山ノカキ
鹿 一 也 夏 花 女 ナツナ 草木

杉古介 父は元ハ一ノ丸ノ子ニてみかしの
乃乃玉川也

介 イノカキナ
トランウラ
ミノスキ
入江橋 夏コモ
松カ子 氷
ふきウサ 若菜 コキナ

野中清水 橋戸

春 いづれの中身の佳山なり
月 九の心をみる人そむ

梅 葉 叶 雪 陽 歌

野宮

梅仙味 伊十ノセ 中中つ比及 麻 ミクサ 妙花
漢水也名信濃有同名者不交高和依日名出

野口里 河内

松乃伊集原又ニヨリ三國降すノ月三月月イトアカシ
ヨリテハ故所人ニシテヨコシ月ガクマニシト
任カ納一理ハ

譯 儀分細きうやハ
去 八 いづれの中乃を花あわさき
也 是 生

野山里 信中 美木

文三十一 あふこそ秋のよれさ人々
ありたれ月のよれ

張浦 筑か 初名早良歌

百十五 わづのころう波きくゆら
あれと家よふふか
肌あけえけつし波しこみ
のこ乃とすりあまこすめり

野寺 山城 延保寺令古月 竹社 家樹 龍基新詠

延保寺七寺 聖園を並供養科 東西
佐比ハ辰中ちあてち 屋を建
但名不ウラぬもあて

能義歌 如電

人そそねゆち乃を何うあてのねふり月うけ
葉つるやふはのあまなりてむよ月れけいまうせて
あれよりせきものねのちたてわとあて月そすりり

野坂浦 肥後 葦小部

徳信撰 あきの坂のうた舟切
うまよん何さなゆら

あき 舟 小舟
か みせ見 松 雪
又よきたう松風さびてあきの坂の雪のなれさるる

野鳩崎 佐後 敷字 每房 近江 三和也 今孫一木

千載 垣をへ中流のさびのさゆり
波城風のふり取りを記

中守後 子 詞 名

乃み末乃流 流 三原歌

野上 山 伊勢 素名歌 橋乃伊集原のたのこいのなるしよあ
月のありけ
あふこそ秋のよれさ人々ありわの煙をまき

野回地 日 友和歌

野上 山 伊勢 素名歌 風を花云此山櫻免多而女樹木 中 友和歌

水於邊 万三 此の邊にまてきて友等乃
中橋の邊にまてりつたぬ

月 庵 千多

万三ノ東路ハ 妻房道ト云ふなり心切テ 妻房出セルカ
作去心切玉サアツミナニテ 東路トセルカ
日をいニ出ス所 凡報 既備
全クテ北橋カ邊ノニ凡ニ夕飯千多立サロクナリ
至ルニ 東路ヲをい流ト云ミテ入タルニ 此ノ歌詠スルカ
不冷中橋カ邊ノ外ニアラス 万三叔ニトノミニモリ
又ノ内ニ色上依リ記ニトラスノ時ニカリニ 又ニトト三ホラ
ニテ タナカト云ハシラシクセル

新字安房之出奇 千我 既備

東路ノ中橋カ邊ノニ凡ニ夕飯千多立サロクナリ
至ルニ 東路ヲをい流ト云ミテ入タルニ 此ノ歌詠スルカ
不冷中橋カ邊ノ外ニアラス 万三叔ニトノミニモリ
又ノ内ニ色上依リ記ニトラスノ時ニカリニ 又ニトト三ホラ
ニテ タナカト云ハシラシクセル

旅

老曾杜

在 浦中 息子 杜社

后松邊

東路の所出まてり人々をきき
おいら杜のよそに一ノ息

常 系 時由 雲 本松

介 里 ミツ千花 三ノ末

勝清水

山 城

形於邊 此の邊にまてり友等乃
あま月のうけいりつたぬ

雲 月 大示

山 一里 橋 維 三ノ末

同云出 鯛 鯉 鮒 又 貢 梓 荷 菱 実 示 荷 干

老津嶋

在 奇 童 部 浦 已 出

於 叔 系 未 抄

廿二花オイヌノ系ノアサツエニ
行キ下キカ又袖モマシケリ 光徳集

大磯

在 模

夫三十一 大いなる朝な夕なうらうら
あはれもいと神やめりん

浦 一ノ小川

大磯里

在 中 夫木未抄

夫三十一 是こもつとまてり友等乃
大いその里にみらの戸もあ

大橋

在 河 田

大原

山城 乙訓郡

古今 大原をうたふのよしけはむら
神代のももろのうらむ

山神 里中 榎 萱
子規 松 中 サエハ

後かゆい
山幸 上世 勢代入 雄 七カイ 九月
辰 務 月 ミテクフ 小桂ノカ 政系 宮
時方

大原

山城 愛宕郡

捨遣 世甲のあやきものいふれ
大川ののろろをなむ

山川 里 雷 月 炭竈
時方 ヒラ 小松 コミツアリ

介 炭竈 小池ノ山 炭ノカニフ 行せ
上世 鹿 小池ノ山 卯 音 松 山田
小道 翁 ね 赤 名 竹 水

百九七

大城山 紀伊

志るてかあま川に川の大橋の
ふたのあまを川大川の
あまの心いひきくゆくこころ

大初瀬 大和

大初瀬 散木ノ 百段板

大湯山 吉

大湯山 吉 万代と大湯山をうたふなり
久く君をうたふなり

大和田 播磨

大和田 播磨 名寄出

大原

大和 市郡 愛宕ノ大原ノ前ノ内ニ我
山城 乙訓郡

凡雅 大原ののろろをなむ
大川ののろろをなむ

万二天武天皇 大原夫人 大原 宇日大原大 自田郡
我田大原コリ 大原ヤリニシヤニフコニクナリ

大和田

大和田 大原ののろろをなむ
大川ののろろをなむ

大和

大和 大原ののろろをなむ
大川ののろろをなむ

十巻

百九七

大城山 紀伊

志るてかあま川に川の大橋の
ふたのあまを川大川の
あまの心いひきくゆくこころ

大初瀬 大和

大初瀬 散木ノ 百段板

大湯山 吉

大湯山 吉 万代と大湯山をうたふなり
久く君をうたふなり

大和田 播磨

大和田 播磨 名寄出

大渡川 肥後

大渡川 肥後 大渡川ののろろをなむ

大我野 紀伊

大我野 紀伊 大我野ののろろをなむ

大野 武吉

大野 武吉 大野ののろろをなむ

大和川 吉

大和川 吉 大和川ののろろをなむ

大淀

伊勢

拾遺 大淀の夕景 夕陽の光 夕陽の影

鹿 あま あま あま

俣 浦 むす むす むす

アミシ アミシ アミシ アミシ

大宮

鳥

彩和楼 大宮の夕景 夕陽の光 夕陽の影

河花 大宮の夕景 夕陽の光 夕陽の影

大内山

山城

九宮 大内山の夕景 夕陽の光 夕陽の影

大田社

山城

延喜式大田神社

史記家集 建保五年に月比例なりて大田社に...

大田社の夕景 大田社の夕景 大田社の夕景

大田松 大田松の夕景 大田松の夕景

大田松 大田松の夕景 大田松の夕景

大田松

鳥

大田松 大田松の夕景 大田松の夕景

大谷

山城

大谷 大谷の夕景 大谷の夕景

大内山

鳥

大内山 大内山の夕景 大内山の夕景

大津

鳥

大津 大津の夕景 大津の夕景

大浦

鳥

大浦 大浦の夕景 大浦の夕景

大浦 大浦の夕景 大浦の夕景

大井川

山城

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川

鳥

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

大井川 大井川の夕景 大井川の夕景

サトウキビ
一ノ位
一ノ位
サトウキビ
サトウキビ
サトウキビ
サトウキビ
サトウキビ

大野

候
候
候

大國里

候
候
候

大倉山

候
候
候

大也川

候
候
候

夫
夫
夫

大江山

候
候
候

大荒原

候
候
候

夫
夫
夫

サトウキビ
サトウキビ
サトウキビ
サトウキビ
サトウキビ

大沖

候
候
候

大也川

候
候
候

大沖山

候
候
候

大也川

候
候
候

夫
夫
夫

大荒原

候
候
候

大荒原

候
候
候

夫
夫
夫

ワタヤ大いんるくくしてこのわくし毎ナクナリ
五月の 一浦 一橋 ツツシ

大荒川

大和 宇智郡

古今

大荒川は杜乃下原地ゆきと
勢きこすくふくも

月

五月 五月
五月 五月

延喜

延喜 延喜 延喜 延喜

和

和 和 和 和

大澤池

山崎 唐澤池本名

古今

一和と云ふ一葉でわさば
池の底もそれうきん

延喜

延喜 延喜 延喜 延喜

和

和 和 和 和

大荒川

丹波

大荒川は丹波の川なり

延喜

延喜 延喜 延喜 延喜

大坂

大和

大坂は上野原に在り神名帳下野
大坂山神社

延喜

延喜 延喜 延喜 延喜

大崎

大和

大崎は上野原に在り神名帳下野
大崎山神社

延喜

延喜 延喜 延喜 延喜

大宮

和

大宮は和の地なり

花

大宮の花は和の地なり

大宮

大和

大宮は和の地なり

大宮は和の地なり

大城山

大和

延喜

大城山は大和の山なり

大宮川

大和

延喜

大宮川は大和の川なり

大鳴

大和

延喜

大鳴は大和の山なり

大雲川

丹波

大鳴門

大和

大鳴門

大和

大鳴門

大和

大鴻

周活 新字ゆか

ほ撰 人志すらふ心は野り下乃
鳴門 難 水ヲコトヒニヤ舟
新編 難しき事多し大鴻の心は野り
ナルトノウツテ ナルトノウツテ

大鴻家

大和 平群殿

新字載 いしうあうつれたもえんとあわら
ナリテヨクあわセテ

五七 時ぬ アラシ 日中紀行
イカニカセニアルハカ大ニオホナノホラズムスニタル

大鴻河系

大和 市常殿

新古今 五月の八日の日此まきま
かてやの下のまららん

大鴻

新字元 大鴻
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

大宇川

丹波

名家口上 大宇川一なるそりて
いしうあみかかこそあはるせ川
藤原大宇川上存テオホモ川アラハル神トモ不書哲人
一定之

大隅

人丸集

名家口上 大隅の心を大スミ
ワヤの心を大スミのいしうあみ
秋をうすれと死にたうらん
いしうあみかかこそあはるせ川

巨椋

山城

守法殿 延喜式巨椋神社

万九 大ら此入にひくくういれ人乃
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

音羽山

嵯峨

山科のやま乃此れやま
人れあはるこそあはるせ川

山 里 橋 鶯 郭公
月 白紫 橋衣 松虫 時女
音 松

音羽川

山城

音 松 月 川 五月 松 月
音 松 月 川 五月 松 月
音 松 月 川 五月 松 月

音無

山城

夫二十六 音無の心を大スミ
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

音無

法興

音無の心を大スミ
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

多末

足道

多末の心を大スミ
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

多師

山城

多師の心を大スミ
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

音無

山城

夫二十六 音無の心を大スミ
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

音無

法興

音無の心を大スミ
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川
いしうあみかかこそあはるせ川

菅花 菅の流 菅 性 夕三

音三 色江

鎮千載 色江の川は清く流るるなり

音三川 紀伊

拾遺 音三の川は清く流るるなり
色江の川は清く流るるなり

音三 色江の川は清く流るるなり
色江の川は清く流るるなり
色江の川は清く流るるなり

音三山 伊勢

音三山の山は清く流るるなり
音三山の山は清く流るるなり
音三山の山は清く流るるなり

音三山 尾張

音三山の山は清く流るるなり
音三山の山は清く流るるなり
音三山の山は清く流るるなり

音三山 上総

音三山の山は清く流るるなり
音三山の山は清く流るるなり
音三山の山は清く流るるなり

下五原 色江

下五原の山は清く流るるなり
下五原の山は清く流るるなり
下五原の山は清く流るるなり

於川里 赤地

於川里の山は清く流るるなり
於川里の山は清く流るるなり
於川里の山は清く流るるなり

於美橋 赤地

於美橋の山は清く流るるなり
於美橋の山は清く流るるなり
於美橋の山は清く流るるなり

碓 駒盧鴻 色江

碓駒盧鴻の山は清く流るるなり
碓駒盧鴻の山は清く流るるなり
碓駒盧鴻の山は清く流るるなり

鉄海

鉄海の山は清く流るるなり
鉄海の山は清く流るるなり
鉄海の山は清く流るるなり

奥海

奥海の山は清く流るるなり
奥海の山は清く流るるなり
奥海の山は清く流るるなり

新在介 奥海の山は清く流るるなり

新在介 奥海の山は清く流るるなり

御前沖

但神志沖とて定むる名
御前沖

十載

御前沖の沖をいふに
て井の浦よりあつたてり

生浦

伊勢

古今

御前沖の沖をいふに
ありともいふていふ

梨

細

香

あき

ミル

檜麻ノ生トツケタルハ誤古ク檜麻ナラフ
トツケタルトハオノカチナリ

約

山ナシ

山ナシ

山ナシ

山ナシ

山ナシ

奥津濱

和泉

古今

奥津濱の沖をいふに
ありともいふていふ

十名

カヌキ 約 郭

奥津嶋山

法

但海中沖の沖をいふに
ありともいふていふ

後十載

万をいふ

極

奥小嶋

法

奥小嶋の沖をいふに
ありともいふていふ

形

奥小嶋の沖をいふに
ありともいふていふ

奥小嶋

薩戸

十載

奥小嶋の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津

古

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津

古

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

堀

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

奥乃那

陸奥

奥乃那の沖をいふに
ありともいふていふ

又三十一

奥乃那の沖をいふに
ありともいふていふ

奥乃那

陸奥

奥乃那の沖をいふに
ありともいふていふ

又三十一

奥乃那の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津

古

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

又三十一

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津

古

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

又三十一

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

池

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津

古

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

又三十一

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

川

奥津の沖をいふに
ありともいふていふ

奥津浦

古

奥津浦の沖をいふに
ありともいふていふ

奥井

陸奥

古今

たこのめておとやうとておとやうとて
おとやうとておとやうとて

陪膳演

台

拾遺

やうとあつてもあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

後山

思川

筑前

存撰

おのり川たるは流る水のほろ
ほろとく人よあつてもあつても

山吹

五月

菅

理

氷

藤

月

麦

三三三ヨトム水
ミヨタ
オキキノ橋
千多

又五

うらよすの川の原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

奥津

楠山、出津名

万七

橋

アノ橋

千多

川とていふも、舟とていふもあつても
あつてもあつてもあつても

奥津借

台

うらよすの原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

奥十山

義徳

万十三

我が山吹の原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

息長

楠山

坂田

万十三

アノ橋

うらよすの原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

沖中川

北名

橋

万三十

うらよすの原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

置勿

赤印

万十六

うらよすの原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

起居里

陸奥

八ツツツオキノ

万八

月

橋

うらよすの原もあつてもあつても
あつてもあつてもあつても

徳政三子例 非代上

隠岐 人左衛門

其の御方々御方々乃其の御方々

一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々

織西保

筑前

一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々

押部山 末節

一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々

忍海角利宮

大和忍海角利宮

押部後

忍坂山 大和

一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々

思波久橋 陸奥

一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々

面影山 因幡

一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々
一、御方々乃其の御方々

母山 美濃

万七口奇 不審

百九

可入
押のよすこらさよあて
の舟をくんとすうあふこも

思山 法真

石版

かた意のり乃乃工のこちり
かひ乃ふれまふささる
ついでんやあまひの

思子山 赤神 カサチノミツヒコノミチノササハミハミタツラニリ又ハキカサ
名堂ノミチノ

思社 赤印

又木三二

かひのり乃乃工のこちり
かひ乃ふれまふささる
ついでんやあまひの

大内山 和名掛 伊賀 一里

此山多由名材茂盛而土民多取用之此山者
昔當国大尊會用悠紀二度用主基三度
用其板穂之勅使者必當山之林麓之帳
屋行之其処曰由須野云悠紀主基云言博也

真中郷 尾張 出ア致

風土記云上農

大井田郷 日

同云出年貢銀 鋤 鋤 鑿 小川 出年貢
銀等

大山 日 中略致

同云出 帆 狸 麻

大乳郷 日 明栗致

大野木山 伊賀

同云出 松柏 有神号 天皇 主事 代主 密跡也

下肥也

大村里

同云 中肥 也有神号 大村 大明神 團造
由氣忌 于 不奈也

音山川 日 甲一致

大木山 日 山向

同云有神之東出松枝亦多異歎

大川 日

同云在大木山林鹿無異類

大山嶽 日 名注

同云有松東南多出松枝亦茂於草根
民用多而土地肥馬異歎異會亦未為田

家害

大井 色紅 伊予 和名於保井

大羽神社 日 出神名脱凡上記

恩智神社 日 同内 名注

凡上記云不祭多力雄神也雄畧天皇
三年奉圭田行神事凡祈力業相撲
者請此神

置保神社 伊勢 安徳郡 神名此

同云大日本根立及圓引天皇五年祭所
大就多津命也

大神郷 色紅 淡名郡

同云云穀、一假粟、一貢柴、延竹
袴洞布細綿糸備不

一神社 日 神名此

同云敏達天皇二年癸巳六月亦祭大
已貴命也 處民祈水旱其驗有之
則有雙多集瑞籬之內以之為瑞

大楠神社 日 祭名歎 神名此

同云不祭大已貴命也欽明三年加新
祭有神家鹿田氏松中氏居之

大江郷 日 和名日

同云貢柴胡独活木

大河内 駿河 本并致

同云産葛粉蕨艾菜木

大河内河

河流分爲三一爲志豆根河一爲鞠子川一
爲猪川終流入海

大歳御祖神 或雷神 日郡

同云答田天皇四年癸巳始祭之云

大歳御祖神者号玉依姬賀茂建角
又^{今平}之也雷神者伊特册首生大神
斬遇突智終後伊特諾當斬爲三
段後其一爲雷神云

久

黒戸濱

下総 更級紀垂
形字六卷

山紫

未^し_しは^し今^し言^しか^して^しい^しつ^しか^しん
く^しれ^しる^しの^し終^しれ^しよ^しの^し月

久路保

上中

衆名

伊勢 卷名

同云元之當於東西十二里南九里向海多而山林
下巻

百十尺

か^しつ^しの^しく^しら^しと^しれ^し流^しの^しく^しせ^しい^しん
く^しれ^しる^しに^しや^しこ^しう^しく^しし

黒川橋

越水

谷名

黒川 卷名
未^し_しは^し今^し言^しか^して^しい^しつ^しか^しん
く^しれ^しる^しの^し終^しれ^しよ^しの^し月

黒川

未^し_しは^し今^し言^しか^して^しい^しつ^しか^しん
く^しれ^しる^しの^し終^しれ^しよ^しの^し月

丈二十尺

く^しの^しく^しら^しと^しれ^し流^しの^しく^しせ^しい^しん
く^しれ^しる^しに^しや^しこ^しう^しく^しし

黒髪山

未^し_しは^し今^し言^しか^して^しい^しつ^しか^しん
く^しれ^しる^しの^し終^しれ^しよ^しの^し月

名上

信長

ゆ^しえ^しの^しく^しら^しと^しれ^し流^しの^しく^しせ^しい^しん
く^しれ^しる^しに^しや^しこ^しう^しく^しし

言

小南

小スケ

笠 五月

黒山

信長

新あ裁あ意元と作彦
色えぬらあはのやうう
ゆきやうつとすつて

黒塚 窪
花介

みちのあまのり乃くつ
ゆふこのまうときいす

黒田里 尾法
又三十一

ををを分るてあはあ
くら田れ里の夕やて

黒田川 尾法
各房

あはああはあはあ
くら田の川あはあ

久遠劫 山藏

みゆのあふのあはあ
あはあはあはあはあ

黒津里 音

はあああはあはあ
くら田のあはあはあ

黒牛海 尾伊

あはあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

みか 泉川 辰帝花文
郭下 今ツクル 山ノミ川 辰帝花文
カゴ山千ハ ワタイ言 辰帝 麻 柳衣

萬七 浦 深 鱈
土俵日記 柳衣 辰帝 辰帝 辰帝 辰帝 辰帝

朽木拙 音
甲賀殿

年ふれ人あはあはあ
朽木あはあはあはあ

桑原 音
名桑畑土又桑原三出

桑原のあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

花介 桑山 雨 梅本ミツレ雨

桑原 音
和名言徳教桑原

あはあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

朽木揚 音
津園

あはあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

桑津色 音
和名言徳教桑津色

あはあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

栗井里 音
全宗

あはあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

久仁保 音
和名言徳教久仁保

あはあはあはあはあ
あはあはあはあはあ

國見岳 又赤武紀

栗栖小野 山城 愛宕郡

拾遺

白浪のしらくろのあつてふるま
わりなきこもやうくありけり

若菜

萩穂糸 萩

千穂ノホツ

氷室

葛

虫

千雀

雉

ワラビ

ツツミ

鶉

鶉

栗栖小野

大和 忍海郡

新字山城ノケルニシテ

後千載

百六 けすたのふん乃その花の毛
ちすけりけりてまへん

棕橋

大和 十市郡

拾遺

は月やけりけりおのほろけり
ねふつとくもつたけりけり

支子山 大和

又三十一

ちぢるちぢるのやうな
いそぐやうなうらひ

梔子泊 佐野

歌本

くらしのとまりとまけりけり
いそぐやうなうらひ

栗原 法興

伊豫柳浪

号 又本

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

栗隈山 山城

歌本

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

後千載

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

栗隈山 佐野

歌本

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

倉之濱

歌本

拾遺

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

鞍馬

山城

車川

伊賀

又三十一

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

群馬御 上野

又三十一

けりあつてこれね乃人あえ
歌のつとまのいそぐやうな
はたのふんうらひ

存様
辰月
聖とよ乃今西の山といれ人々
たもくしんさきうん

暗部山

辰月
秋花のわよをへいんくふやうり
やよよこゆれとあつてあつてあつて
ツシ
辰月
辰月
辰月

暗部里

甲斐殿久良布目代金屋
いしんくふの里人の
おきん

位山

信濃
まよ行は又又又又又
位山のさつてつげつあつて
す百代のさつてつげつあつて
辰月
辰月
辰月
辰月
辰月
辰月

熊野

辰月
辰月
辰月
辰月
辰月
辰月

栗間

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

栗栖小沖

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

百濟

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

百濟地

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

朽細山

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

久志川

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

久能乃杜

辰月
まよあつてひらつてあつてあつて
まよあつてひらつてあつてあつて

甘藷 麻子

山南の南の山 砂及カヤミ山 杉

天木三

此のこまハ秋もくればの杜わら

紅村

丹波

又右服部里

又ノシロコト 一ノ山 一宮 吉野

藤原

ていふ色もみける

草香

何日

神武紀 邇流而徑至何日 國草香色を白眉洋

紅山

赤

抱名不

又ノシロコト 一ノ山 一宮 吉野

倉田

丹波

堅致宮致

倉田川上

丹波

堅致宮致

又三十一

をいふこは神ありてく

久米路橋

大和

か 入の道心ナク 山

倉垣里

何中

又未

橋月 雷 昔

か 橋 一橋 谷村能 又 耶

クラタニ

赤

赤

久米路橋

信濃

拾遺 久米路橋 信濃 往國所枕

泳宮

美濃

尺

久米作良の美作

古今 我

久米多國

法興

和名本久多國所枕

雲林

山城

橋 未

源

初

橋 檜 宮 柳 葉 郭
 檜 葉 柳 葉 郭

雲田村 丹波

本載 平治 大
 云田の山は丸い山なりて丸い
 雲田の山は丸い山なりて丸い

雲石居る 山城

お母様を石居るの石居る人なりて
 石居る人なりて石居る人なりて
 石居る人なりて石居る人なりて

久世 山城

久世殿
 山城の久世殿は山城の久世殿なりて
 山城の久世殿は山城の久世殿なりて
 山城の久世殿は山城の久世殿なりて

熊山

熊山
 熊山の熊山は熊山の熊山なりて
 熊山の熊山は熊山の熊山なりて
 熊山の熊山は熊山の熊山なりて

熊末 熊宅

熊末
 熊末の熊末は熊末の熊末なりて
 熊末の熊末は熊末の熊末なりて
 熊末の熊末は熊末の熊末なりて

菊川 山城

菊川
 菊川の菊川は菊川の菊川なりて
 菊川の菊川は菊川の菊川なりて
 菊川の菊川は菊川の菊川なりて

菊川里 河内

菊川里
 菊川里の菊川里は菊川里の菊川里なりて
 菊川里の菊川里は菊川里の菊川里なりて
 菊川里の菊川里は菊川里の菊川里なりて

菊津 谷

菊津
 菊津の菊津は菊津の菊津なりて
 菊津の菊津は菊津の菊津なりて
 菊津の菊津は菊津の菊津なりて

菊津山 山

菊津山
 菊津山の菊津山は菊津山の菊津山なりて
 菊津山の菊津山は菊津山の菊津山なりて
 菊津山の菊津山は菊津山の菊津山なりて

樟葉宮

樟葉宮
 樟葉宮の樟葉宮は樟葉宮の樟葉宮なりて
 樟葉宮の樟葉宮は樟葉宮の樟葉宮なりて
 樟葉宮の樟葉宮は樟葉宮の樟葉宮なりて

目つー月 月

凡て云々東西十二里南十里東限
 七地川西限北限南限東限
 小限小川南限川山山

名未抄 未未抄

ふ又平
 平又ふ

日十七

百十七

初云

未抄

又三十四

又三十一

每 一

又二十

若村三宅 丹波

又于其後家集

其後集
きけんまゝのつたふらひの
いふのうらみしづかしの
あふひのこまのこあけ 家集に白紙解 其集付
写紙是未知何也

次波崎

渡河

名伊豆 又又樹津

久夜浦 未切 又三十五

菱渡

樹津

夫三十五

久米川 大和

日中紀受安 唯界天々

所終きる思ふつとそふ川
ひくつとつとせむせりつと

久之川

産屋

又三十五

根田川

伊勢

勸本

此名本
久慈屋よあふ母でかひりりい
あふ母でいふせとよあふり
久慈母下は
久米川はあけてあふまてあふ
まらち けあさやいふりえ

杭瀬川

義徳

希徳のあふまらひせ川いあふやうて
あふまらひせ川いあふやうて
あふまらひせ川いあふやうて

田雲川

未印

又三十五

水の押のたやうな月とあふ
あふり川といふりりりり

雲津

能宅

和名城中国郡名
和名 城中国中名不亦合 在名ヨミ人不知
和名 城中国中名不亦合 在名ヨミ人不知
和名 城中国中名不亦合 在名ヨミ人不知

文三十三

仲々けさるるの...
仲々けさるるの...
仲々けさるるの...

雲津濟 伊勢

文二十六

川...
川...
川...
秋の...
秋の...
秋の...

雲井山 赤印

文三十

あまの...
あまの...
あまの...

雲濱 差後

文三十一

あまの...
あまの...
あまの...

雲杜 赤印

文三十二

あまの...
あまの...
あまの...

暗崎川 伊勢

出能辨木

國王神社 和泉

願行寺 左に

願行寺...
願行寺...
願行寺...

國停湊 日

同云公穀滅其半諸國及蕃船入湊...
推古天皇三十二年秋蕃船入湊各佩金玉...
之帶萬顆珠玉滿船言語難通以筆...
紙金通之其俗文字以繩指南方載...
一書送獻我國舟司具之孝經論語...
也其恐趣異本有章第教封之卷官...
持來勅下後費金米返之

草奈岐

駿河 赤印

草薙神社

日 日

同云香具山日記云天照大神以天孫瓊杵
首欲為豐葦原中津神君欲天降之時
左御手持櫛八坂瓊之曲玉右御手携天
叢雲劍 畧注

草薙山 或夫田山 日 日

同云出走兇雉雄狢狸亦又産於園前竹
草松竹木

鞆佐里 日 イホラ 日

同云出板樟 松栢

神社 日

同云和祭日本武尊也往昔古老傳曰日本武尊
逢野火鞍馬駈馳矣自居鞍下念神明忽
自共鞍破尽依之有此名焉

草奈岐神社 日

同云雅足成天皇元年 辛未初祭之奉
官幣

也

八幡山 山城

八幡山山城
山城の北に八幡山あり
山城の南に八幡山あり
山城の東に八幡山あり
山城の西に八幡山あり

矢矧 日 日

矢矧 日 日
矢矧の地は古くより
矢矧の地は古くより
矢矧の地は古くより
矢矧の地は古くより

八重山

八重山
八重山の北に八幡山あり
八重山の南に八幡山あり
八重山の東に八幡山あり
八重山の西に八幡山あり

矢橋

矢橋
矢橋の地は古くより
矢橋の地は古くより
矢橋の地は古くより
矢橋の地は古くより

新あ哉
久し今歌も新あ哉の
其れいさふ程(うま)つ

百元
あけのこころいいていさふ程で、あけのこころ

八十津
是し津ノ名をニテ一不定也。
名和ニアラスを何れかニテ
あつてもヨリ十浦と云カレ

ま紫
いさふ程で三きてもあかあや
十のころにいさふ程

千吉
五月雨

八橋
三橋

古今
かゝるつたれいづれも
いさふ程いさふ程

杜若
水
あてのち 三橋苗代水 五月雨
赤中河川 柳堂 言

和國 日本國号 後撰吟
神五人モヤラク國ノスカメニハ
イッレ左カニキ三ノ道 雅俊

矢釣山
大和 言布歌
たつたふ木もみえにちりま
雷もちりまのまててくくも
アスカマリン言

矢中里
未切

天三十一
梅子ついでにちりまのまててくくも
アスカマリン言

屋上
紀伊

あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八上山
未切 名ま名足

いさふ程いさふ程
あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八箇
山城

新物撰
おの八乃是れのみらえを
いさふ程いさふ程

近
あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八瀬
山城

新法古今
おの八乃是れのみらえを
いさふ程いさふ程

か
あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

矢田世
大和 偏下歌 言布歌

あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八重村
信守

あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八十浦
未切

あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八十嶋
出羽

あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

八田細江
未切

あかあやまのまててくくも
アスカマリン言

麻月虫 音 一廣也

ちんちん 仁徳天皇
この一りすけりかすふらふれあてを
よとてせすすといえらあてを
はとす 矢の金
この一りすけりかすふらふれあてを
よとてせすすといえらあてを
はとす 矢の金

矢野神山 志切

橋(國)志切(命) 志切(國)志切(命)
志切(國)志切(命) 志切(國)志切(命)
志切(國)志切(命) 志切(國)志切(命)

大和鴻

大和國全所をとりてふふあつ
あつた数字は後述せよ
天内(内)の鴻を
あつた数字は後述せよ

玉葉 月 明石
名はつたはつたのつた
あつた数字は後述せよ

山浜

山浜 松澤
山浜 松澤
山浜 松澤

山田京

山田京 伊勢
山田京 伊勢
山田京 伊勢

打鼓集
小舟入やの細竹をすけり
あつた数字は後述せよ

八坂里 山城

山城 和名宅家
山城 和名宅家

八坂堰手 市布

市布 万石
市布 万石

八鴻 日本國号

日本國号 日本
日本國号 日本

八鴻 日 王仁

日 王仁
日 王仁

八尋原 志切

志切 志切
志切 志切

八橋 山城

山城 山城
山城 山城

八松 ね後

ね後 ね後
ね後 ね後

八代 肥後

肥後 八代
肥後 八代

林 雷 巨連

中川の竹何一里 岸橋下
アヤ秋 名子木

山梨園

和名山梨園神社
神名北山梨神社

橋

鏡古

あじの山一里 岸橋下 水の
絶えたるをこひりて

圓基集
かろりて是く、さけは月のえさし山やけと
又九うひく心くの花とて
かひく心くさよほは是川のさく一里の山やけか

山名

大和

ほ雁そのまきまつしめてのりつりつりも
系枕旅となりなはけはよやあなな

毛本指 杜 村馬 山母本花

池 象

折浦 一縣 幸村 系行 紀 三
ワラセ 妻を記名アリ

吳梁瀬川

未印

かろりて川割をいへるあまきけハ
ワラセくたのせれをまね

也良崎 紀 三
ヤラノサキ

仲つきのあつたあ毎のくつこ
ちの傷きまやつたこ

揚枝嶋

山城

川や島し、修すすあ
いそるあそそくう向ん

大和 人九集
ハロシ 天武紀

あつたにあまきけハ
中中けまきまきあひより

山井

山井

日本紀七 大智天皇九年正月甲戌朔
壬午於山井 傍 敷諸神座 而 班

山井 山井 山井
水くかりまきまきまきまき
山井 山井 山井

右今あつた山井のあつた山井のあつた山井の
いひけり人のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

山井

山井

上三三山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

山井

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

山井

山井

山井

拾遺抄 山井 三條坊 門北
京極西

八代のとけき池の水きりて
人れくろくまきりりり

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

川

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

耶麻

山井

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

山方

山井

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

山田里

山井

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

山色

山井

あつた山井のあつた山井のあつた山井の
あつた山井のあつた山井のあつた山井の

入江 サス網 千冬 六彦
下ナ 氷 カケヒ 橋
下苗 カ田 釜屋 杉屋
秋 五月 あり

山背川

仁徳天皇
山背川

山背橋

万八

先の...
わらわら...
法分細く橋は

菽浪里

越中

万十八
...
...
...
...
...

菽畔山

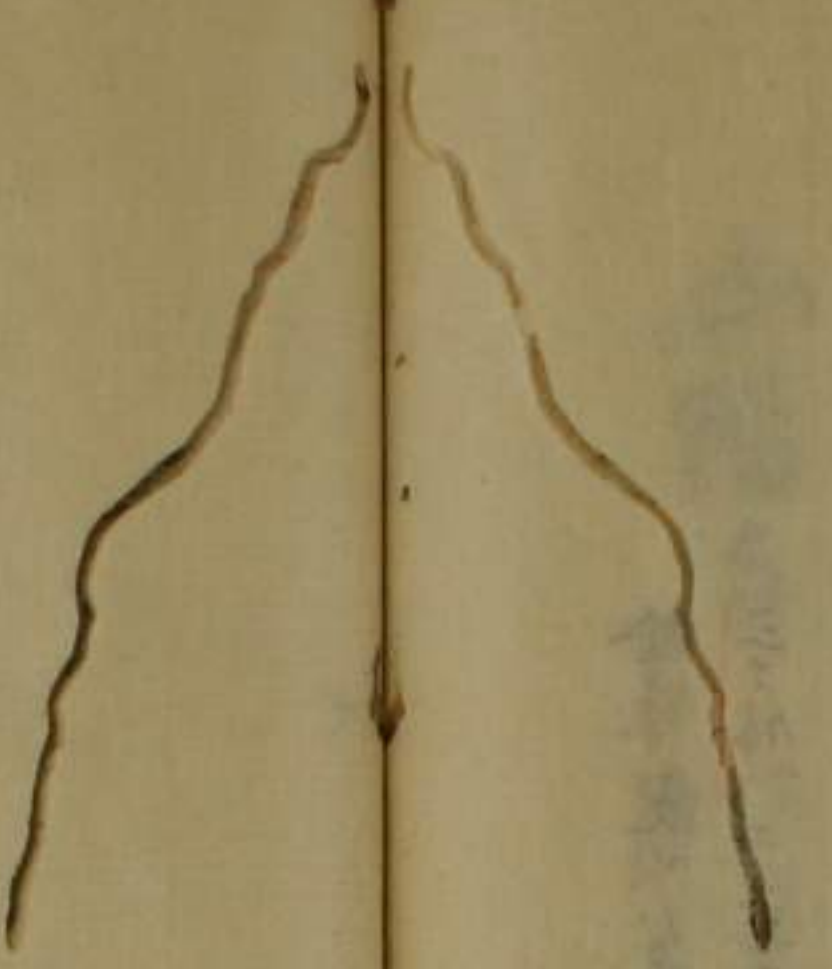
赤印

皆み一人...
...
...

茶師寺

天和

橋下



濱威武

也古之山 肥後

ヒカキ集

君カイシキ...
...

焼子屋

伊勢

晴の...
...

松風

焼津

後河

延喜式一神社

...
...

マミヤノフキ
止屋園

崇神紀

安良村

をい

...
...

安野

筑前

夜須殿

...
...

忍るき先醸酒さけやそのう
ひらひのまゝおかしう

安田 安川 氷代上

安圃 日本四号

夫三十

ふじのくまのこころにらやすと
いふれまのハハヤチラサン

八尋溪 未印

夫三十

言を集 大宰任ニテ下リケルニ
某日のるるうたのみにけり
かしらのるるをゆけりなり

柳束

夫三十

まつらうはらのとくのかきり
あてこしけりなるとのまろ
汲金志柳束ハ八幡天宮殿のまろ
まてをりひり 柳多りけり
樹多し存りて倍つて 在りあり
はより 奇種なるまろハ
柳束と名のまろあり

箭野山 尾張 海戸敷

風土記云出大倉并茨冷独活木又山宮屋
此亦有杜筋足昔海变为田之处也

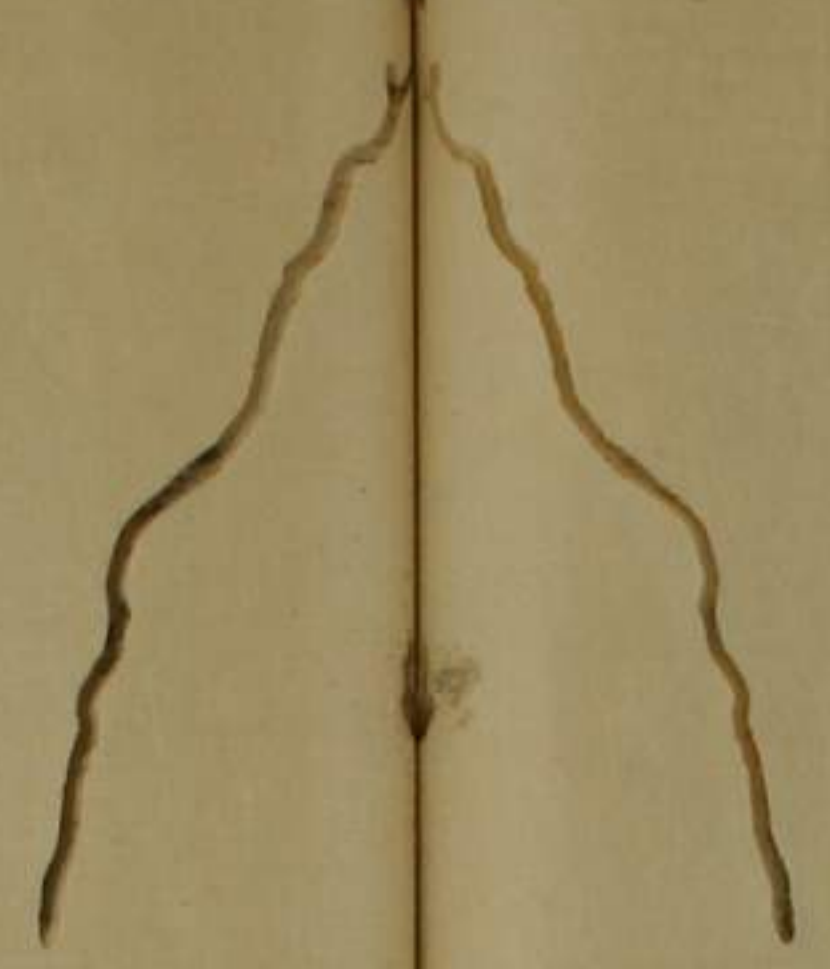
山田郡 日 羽栗

山田郡 但美

風土記云下郡也东限木保川西限河
南限葭塚北限澤田神日本磐余立
天皇御宇 喋史道守不知也 其時属伊勢
郡 昔日多出松竹中古廢馬山數三
十七河数源流共七里郷莊保熟
五十三处也

山田山

有郡东南松柏多鹿多而土地富饒也
有神曰事代主命 亦明神 磯城津
彦玉手見御宇之時在崇也虫食



矢合神社

名

神名帳 風土記脱

八幡宮

名

同云 祈明天皇元年乙卯初不祭也

山香御

日

同云 貢柏松梅竹芋蕨窮栝枝鶴一鳩
鷄櫻脱土

養仙寺

日

同云 平安虫食

山科

波河 寺

同云 月列。三十駄浦料食塩四十五駄

出雉免鳩雁隼 鮮臭茯苓紫胡

綿毛木

矢部田山

日

同云 貢鹿角頭走免血山菜

八幡岡

日

同云 貢横沓十七駄 出松柏杖樟又貢
免狐狸招之皮毛

八幡神社 日

同云 神護景雲三年九月太宰

神主阿曾磨五茨七道各置卷言田

先君官舍故此亦卷言田天皇之

旧官也

矢部渡

有渡日 山科

同云 貢海料食塩亦有款船

山原

日

同云 貢山禽鹿革零羊角猪肉

未

待兼山 海付

羽花

二人をまらぬ山のよき
甲のふあそれとてこ

都云

後か細き山

麻

山川

草推

侍乳山

腰河

新字を絶ておるハ
花葉の経張信まき有角田川

新和撰

新千載

中つらふ女こえくれていお物の
そみさうりくこひらうもねん
流るもやうをとりんまらふ
ゆつこえゆけそあふん

兼川

相模

的形

伊勢

万一

この集

保 正

まきまのこのやなまきまの
いさくあさひさるにやうり
樟らつりまきまのこのやな
ひらあひかまきまのこのやな

鞆園

長門

山崎

日 安寺殿

同云核貢梨桃梅栗楊梅ホ

安藤驛

日 日

日別駄官物省物二百駄高駄日別
馬平 百五十圖。草料當牛腰原 下畧

膏充主某寮之用高倍五十足
每歲被充國府處分

名
イホヤミ田川系ノ桜松名ノミトアカエ浦山

侍乳山 大和 直字ニ依

形古今新上大和國すつらの山にけり住ける女の
けりし物受てまうてあはさうけりやうけり
物受れて
あはさうけりし物受てまうてあはさうけりやうけり
葛 雲 郭 廿五祀 小川 水

長あさすけりし物受てまうてあはさうけりやうけり
紀伊ノサカニナレバ 紀伊ノイリノトヨリ 入多トヨリ
山多 小和末 スツノ 雲 雨 山多

公離鳴 淡真

我せこそ怒りてふれ
すれのー戸れすつをき

外花 螢 音 松 溪火

法糸細き物ハ 一 返 席交 葉 松花貝
アノ伝 カリコ 月

松原山 飯中

風船 遠寄り 秋の月さうれあつた乃山
八月十五夜 伏見の幸あつて八月の月さうれあつた
乃山 八月十五夜 伏見の幸あつて八月の月さうれあつた
乃山 八月十五夜 伏見の幸あつて八月の月さうれあつた

松帆浦 淡路

新船 二人をあらわし 此夕多に
ややりの舟もさうれ
舟 二人をあらわし 此夕多に
ややりの舟もさうれ

夫三十一
ちりのと川せぬりたりかん
かたの川の音いりり

麻里布浦 用務 玖郎

夫十五
ちりぬき舟一由寺へんあつた
まのふのうにやうりせり
波きりあつたあつたあつた
波きりあつたあつたあつた

吉原浦 石見 猶山 末三 仁伊

夫十二
夜そのまのうけまけうら乃
すれあつたあつたあつた
すれあつたあつたあつた

勾池 大和 三市郎

夫二
晴のうまの池乃あつた
人きりあつたあつたあつた
人きりあつたあつたあつた

公離杜 未印

夫二十二
わみらあつたあつたあつた
まのうけまけうら乃

公離山 上野 能岡 秀松 名未印

名未
夕のうけまけうら乃あつた
月さうれあつたあつたあつた
月さうれあつたあつたあつた

吉神原 大和 言市郎

夫十七
あつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつた

ニツカサキ
松山壽

色江 山城有同名

松送

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

ニツラニ
斑鳩

色江

文三十二

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松賀浦

色江

松送

松山のすけのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

ニツラカハラ
真神原

色江

文三十二

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松賀浦

色江

後撰和歌のなかりゆりこせはつて地になり
あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松原

色江

松保

山城 久世

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松原里

色江

文三十一

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松井

色江

松送

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松谷

山城

松多加山

又松九

松滝

色江

あつちあつちのうらたにひれあつち
あつちあつちのうらたにひれあつち

松山

松山

松山のまつり... 松山まつり... 松山まつり... 松山まつり...

松浦

松浦

松浦のまつり... 松浦まつり... 松浦まつり... 松浦まつり...

松島

松島

松島のまつり... 松島まつり... 松島まつり... 松島まつり...

松尾

松尾

松尾のまつり... 松尾まつり... 松尾まつり... 松尾まつり...

松風里

松風里

松風里のまつり... 松風里まつり... 松風里まつり... 松風里まつり...

松崎

松崎

松崎のまつり... 松崎まつり... 松崎まつり... 松崎まつり...

松坂

松坂

松坂のまつり... 松坂まつり... 松坂まつり... 松坂まつり...

松江

松江

松江のまつり... 松江まつり... 松江まつり... 松江まつり...

松江のまつり... 松江まつり... 松江まつり... 松江まつり...

松江のまつり... 松江まつり... 松江まつり... 松江まつり...

まつり... 松風里まつり... 松風里まつり... 松風里まつり...

松風里のまつり... 松風里まつり... 松風里まつり... 松風里まつり...

松崎のまつり... 松崎まつり... 松崎まつり... 松崎まつり...

松崎のまつり... 松崎まつり... 松崎まつり... 松崎まつり...

松坂のまつり... 松坂まつり... 松坂まつり... 松坂まつり...

松江のまつり... 松江まつり... 松江まつり... 松江まつり...

松江のまつり... 松江まつり... 松江まつり... 松江まつり...

志野

孫傳

月桂

冬立

香

法家御書... 松峽宮... 五原 仙任傳 許平 玉植

志野

色白

合衆

序

うつろちけ入のしるし... 志野浦 月 勝衣 千鳥

香

新

新 藤糸 ヒラミ石 九石橋 時鳥
蛙 藤 渡船 橋 碓
一 萩 菴 入石渡

志野菅原

陸奥

新千載

月

音

部

かたけの千代... 向ひけりて... 新千載

志野

下統

千載

浦

浦 入石 五月 月

志野浦

志名井 津代

万九

又十六

麻奈倍

心いつれ... 津代

志野

志野

紀伊

散本

湯まき

淡田堤 仁徳紀

志野の地... 淡田堤 仁徳紀

枕香

志野

相名園 志野許志

百十

向への衣... 志野

間濱

志野

百七

志野池

志野

又二十三

志野の池... 志野

間

孫傳

散本

志野の池... 志野

玉七 二ノ井 舟 ミラツリシ
アケルホカ カラロ 一板シ バクノ水基 表

楨鴻 山城

金糸 月 揚衣
ら川のうらみみぬたさうら
うらみの人あねよりあうら

スガミカニ 布サラス 鳴 何代モリ人板
着 鹿 六平川 柳 音

楨雄山 山城

後を今 子紀 九月 月 音 表
五の初川あ音やあねん
またの音あつる月け

松 揚衣 竹 花サカヌ 紫 丹
楨スツ山 山人 音

二本園 未印

又三十一
身の人さきみぬやあねん
またの音あつる月け

二本山 傍中

又二十
西本山あつるのうらみあねん
けふの時をあつる月け

高砂山

又三十
わらわのうらみあねん
またの音あつる月け

高本戸川 未印

又三十四
津人やあつるのうらみあねん
楨のと川れあつる月け

楨乃野 又十八
高カレノ二キノ、地ノササノユキ
トホキ心ヲ在ニミルカナ

巻細川 未印

又二十二
うらわのうらみあねん
またの音あつる月け

巻末山 未印

又二十
いしつ神やあつるのうらみあねん
またの音あつる月け

巻手山 未印

又二十
味つ神やあつるのうらみあねん
またの音あつる月け

楨里 山城

又三十一
あつるのうらみあねん
またの音あつる月け

楨村 山城

後拾遺 前禰元太公悠延
うらわのうらみあねん
またの音あつる月け

長松山
うらわのうらみあねん
またの音あつる月け

巻向里 大和

古今 月 山 松
うらわのうらみあねん
またの音あつる月け

月 山 松
うらわのうらみあねん
またの音あつる月け

月 山 松
うらわのうらみあねん
またの音あつる月け

真葉川 未切

全宗
この川は昔よりゆきまじり
たれにまじりたる川なり

益原里 未切

後存路達
大和大学
君代はあまのりくわを
程さうりさすりくわを

益田池

大和
君代はあまのりくわを
程さうりさすりくわを

拾遺
君代はあまのりくわを
程さうりさすりくわを

牧浦

未切
牧は牧浦なり

卷向日代宮

大和 橋本郡
またむのひのりくわを
ひてりくわ

志方園

大和
またむのひのりくわを
ひてりくわ

檀山

大和
またむのひのりくわを
ひてりくわ

堀井

丹波
堀井はあまのりくわを
程さうりさすりくわを

末之良久

紀伊
またむのひのりくわを
ひてりくわ

益神山

未切
またむのひのりくわを
ひてりくわ

益田社

尾張
またむのひのりくわを
ひてりくわ

真白良演

紀伊
またむのひのりくわを
ひてりくわ

赤原集尾邊(やま)より其地個人より引と
あつて田さくしき(き)のりあつてほ(ん)りや
おて(ゆ)すすこの(ち)や(り)あ(ま)ま(り)て(き)
こ(ゆ)ま(り)ま(り)
物(の)こ(れ)程(り)り(ま)の(り)と(は)り(ま)す(の)ゆ(り)ん

益田社

和名後井部益田末原田 既凡土記
神名後井部麻蕪多神社

文三十二
月三十一
年(た)ち(の)世(の)い(の)な(れ)て
は(り)ま(り)ち(の)結(ま)り

松山

伊賀 郡

此山高嶺多出名材群鹿競栖処者
野苗之先取中女之月往湿付而取群
鹿甚矣 下畧 凡土記残文

槇山

伊勢 桑名郡

凡土記之此山出松柏多狸狢 下畧

圓山

尾張 中略郡

同云出狸兔

股肢郷

日 羽栗郡

待音郷

日 下農

町並郷

日 中農

真木山

伊賀 阿手郡

同云出松杉柏木良材多異禽異獸不
有神号真木山大明神不祭經律主武
龜槍天兒屋根命也

麻蕪多神社

近江 淺井郡

出神名帳
既凡土記

松山寺

伊勢 安濃郡

同云持統天皇六年 壬辰八月 役小角
尾基地也安不動尊像

前澤

遠江 濱名

同云穀減其半假粟同減其半

真壁

旅河有倭郡

同云公穀六百束假粟二百九產荊麥山藥
當歸亦遊雄之圃

真弓神社一座

同武甕槌之神也

松城神社 日 日

所祭饒速日命也

萬福寺 日 日

同云安聖德太子十如木佛天平神護元
年乙巳之造營也

桁井御

尾張 海ノ砂

凡土記 下農

桁井川

驗德寺

遠江 7千5百リ

凡土記云天平土年信云云明於此寺中
終曼行迦陀法故自宮終為定額兩
時安置不動明王尊每三季春秋山頂鳴
動吹鹿火祈病痾無不驗結草鞋
續草衣掛不動尊前祈一扣無不叩

建崇寺

遠江 六ノノ砂

同云獲我稻美連之願也

計

狭布

ほ捨て

地名

ちねちのこれけのさるるがれをさみ
すにひのあまらふもさるるれ
は布のさるるれにちのさるるれ
このれにひのさるるれをさるるれ
けのちのさるるれにちのさるるれ

みちのにはのさるるれをさるるれ
は布のさるるれにちのさるるれ
三ツ木 右ツミヤ 千ツミヤ 布 三ツツタニ オルツツツ

氣色杜

大隅

千穀

塔

細原

時

紅

秋のさるるれにちのさるるれ
まにちのさるるれにちのさるるれ

氣多川

粗

氣多郡

金糸 止

朝一ツキカラノ者ノケルハ
夕チカル舟ノスクルナリケリ

氣多山

能

但馬能谷氣多アリ

順家集

津のすけのさるるれにちのさるるれ
口さるるれにちのさるるれ

毛野田

大和

本点のさるるれ

百八

津のすけのさるるれにちのさるるれ
あさるるれのさるるれにちのさるるれ

氣色濱

赤部

まにち

さるるれにちのさるるれにちのさるるれ
れさるるれにちのさるるれにちのさるるれ

介
柏木 蔵 漆 雷
六のつらきん大すの事さの杜のまもるさ

畑山 未抄 名寄出

畑川 丹波

未本

川原

山古版

里夫三十一

めきつる氏のうまやあわし
けりの川乃あつたつた
世中とまけさるあつた
くれぬあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

氣美浦 未抄

名寄出

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

氣比海 越前

氣比神社七座 氣比神社

浦 万十二

宮 夫曹

宮神紀首級浦号其處曰角鹿 於此哉

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

藤園

山崎 冬巻

園頭神庄天穂日牟二座以仲夏祭

布宅古呂

筑前 志を集太宰紀下下の時
あつたあつたあつた

大市 冬巻

紫林

荻戸

佐和

堀而

追風とすうさる

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

荻原

伊勢

安藤

雄略紀三伊勢國荻原村
倭非世紀安藤方行福宮

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

荻井原

大和

十市郡 荻井原

万十二

あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

不

不破

美濃

持根

今八つと五つと好あつたあつた
あつたあつたあつた

月

藏

花

伊能

中山

夜

中上

又、虫

イサノ

伊能

夜

中山

荻原

フキハラ

大和

十市郡

荻井原

外環

たのむつたあつたあつた
あつたあつたあつた

糸月夜
アヲクノ名井ノ系 太田ノカ
ミヤノ山 一ツリミヤ
麻 萩 徳松
一宮 允恭紀祖通事一也推古也

菟江

菟川 菟江 菟江
明石郡 和名若江 菟井曰本

新古今 かりたの菟江のうけ沖つま
月 松 菟 一岸 仲

百六の菟井に...
イサリ 白夕ノ菟江ノウツ イサミノ大田系
余 籾 唐 店

菟坂山

丹波

後任撰 切らぬの菟坂のうけ...
あせのうけハ...

菟井浦

明石郡菟井浦 菟井浦

菟井川

未切

菟江浦

未切

菟杜

山城

菟中村

之河

菟代坂

紀伊

後任撰 菟代の...
あせのうけハ...

布留

大和

後撰 布留の...
あせのうけハ...

菟生

山城

好名集 菟生...
あせのうけハ...

菟崎

肥後

菟鳴

越前

菟鳴...
あせのうけハ...

いづれもみぬみちの端か
龍二町のふらふら
郭々 照村 笹

月 介
名 月
オチ橋 ツ、シ フモトノ地 萩

二子山

ト地 夫木又をあら

は撰もほちまくりけりあかみ
了てはりりけり

二子の山に城のくまげ
そこのくまげをあら

外巻
むや二子の山乃ふありあり
二子の山に城のくまげ
ふりけり二子の山に城のくまげ

二見

伊勢

合衆
いづれもみぬみちの端か

浦 深 月 貝 ね

二見

播磨 名但馬

古今但馬の場(すなはち二足の)と
いふありて

名考(但馬)の二足の山乃本あり
いづれもみぬみちの端か

二子山

相模

新ノ原若根山ト二子山トナラテ詠ルカ
然ラハ二子山ト地ナルニ
名丹集 夫木
明久れんよこれとちりよ

二俣川

武蔵

名乃をあらつたけのあさり
二子川ハききつらん

二見山

昌長云々
二見山に城のくまげ
二見ハ三子の山に城のくまげ

二見道

三河

名乃をあらつたけのあさり
二子川ハききつらん

船橋里

上地

いづれもみぬみちの端か
ふらふら

船上

伯耆

名考(但馬)の二足の山乃本あり
いづれもみぬみちの端か

船井川

丹波

名考(但馬)の二足の山乃本あり
いづれもみぬみちの端か

船寺

播磨

名考(但馬)の二足の山乃本あり
いづれもみぬみちの端か

管浦 丹後

丈三十九

考たり紀伝より取りてきしうん
考之れうにも凡いあさなり

管吹山 丹波

丈三十

足引の管吹山乃ち吹山凡十
百代乃秋志くくこそ多紀
考之れうにも凡いあさなり

管吹池

大和

神名根穴吹神社

丈一

管吹の池乃つとくをくも
こらとく山名は吹山凡十
代乃秋志くくこそ多紀
考之れうにも凡いあさなり

管山 丹波

考之れうにも凡いあさなり

吹飯

丹後

後千載

考之れうにも凡いあさなり

吹上

紀伊

古今

吹風の吹上たふつとくをくも
考之れうにも凡いあさなり

後千載

丹波

考之れうにも凡いあさなり

吹出濱

丈三十九

吹風の吹出濱乃ち吹山凡十
百代乃秋志くくこそ多紀
考之れうにも凡いあさなり

黄卷川 丹波

丈三十九

水乃吹風の吹出濱乃ち吹山凡十
百代乃秋志くくこそ多紀
考之れうにも凡いあさなり

伏猪山 丹波

古今

考之れうにも凡いあさなり

富士

駿河

考之れうにも凡いあさなり

芝山 中津門

芝山 中津門
川ト 十多ク 谷ノ形ヲ 寄ノイワシニシテ
川ト 十多ク 谷ノ形ヲ 寄ノイワシニシテ
川ト 十多ク 谷ノ形ヲ 寄ノイワシニシテ

伏見

後松遠

後松遠
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中

伏見

大和

大和
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中

山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中
山ノ中 野ノ中 田ノ中 里ノ中

文在

文在
芝山 中津門
芝山 中津門
芝山 中津門

不盡見嶽

不盡見嶽
此山多出群鷲 群鷹 并異獸 酒名華
此山多出群鷲 群鷹 并異獸 酒名華
此山多出群鷲 群鷹 并異獸 酒名華

藤澤山

藤澤山
凡此山此山多法多和洞三年出黃多
凡此山此山多法多和洞三年出黃多
凡此山此山多法多和洞三年出黃多

大石山

大石山
同云出石亦多出鹿 狐狸 狼 在神号
同云出石亦多出鹿 狐狸 狼 在神号
同云出石亦多出鹿 狐狸 狼 在神号

筆世郷

筆世郷
日 羽栗政
日 羽栗政
日 羽栗政

船山神社

船山神社
同云仁天皇四十四年甲戌十一月依神宮
同云仁天皇四十四年甲戌十一月依神宮
同云仁天皇四十四年甲戌十一月依神宮

敷智郡

敷智郡
同云浦三溪二名山六圍七地二河川二
同云浦三溪二名山六圍七地二河川二
同云浦三溪二名山六圍七地二河川二

福満寺

福満寺
同云大宝六年 復泰隆 應母氏之縁而未當
同云大宝六年 復泰隆 應母氏之縁而未當
同云大宝六年 復泰隆 應母氏之縁而未當

伏屋

信濃

拾遺 たらくもよそやうえあは乃
あぢやといひのよはなす
まの末 ぐさな

か
フセニシクカクシ ナテシヨ 麻 ニソノ
ラツラ 一里

深澤

致河 ウノ致

同云出鯉鰻莫當國造之用

神社 日 日

同云鳴澤女神也

麓山神社 日 安并致

布勢

水海 越中

新和撰 百七
ふれ海沖つしはちううふひ
いやくのえはちつちのえん

友 あり 麓

舟 舟
イ子村 水海 藤 浦
吉丸 松原 石原 水海
志 又花味

古

衣川

信奥

拾遺 たりよりゆつ洞ふちの乃
衣川をりつりり

神の

衣川 虫

月

後撰 たりともそけい内かんをさ
おれさきもさきりあわれ
コトリ子一 瓦 赤

衣川の里の長のむかして
ひりうまきしんあまう年やまはな
あま 又ニテワウサメ 振 郭 見
衣 衣

小磯浦

お模

名

大いその小磯のうれうれ
ゆもろくろくさささ

小池

紀伊

山

いふ所て橋のひりてりあゆ
こいけのこいけの月のまゆん

古呂池

未幼

又

いそあふぬあふぬ
いそあふぬあふぬ

衣浦

未抄

形数

浪之浦衣のうとまてまてまて

玉栢

月 多

油貝

衣子杜

山城

後抄送

まうまてわらわらわらわらわら

郭公

お系 時方 酒原

花

お系 一里 赤 鹿

庚不

表

木幡

山城

衣流

山城

巻巻

巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻

衣子山

伊勢

名考 又山城

又十二

衣子の山のあはれまてまてまて

又二十

衣子の山のあはれまてまてまて

衣崎

信濃

名考

衣崎のあはれまてまてまて

衣渚

三河

和名云賀茂郡奉母古呂毛

拾遺

こま川こま川こま川こま川

川

美 里 峯 かん人

音

揚衣 的 山ノノ 三ノノ

伏之

一上 花 柳 橋

下

音 音 音 音

六

音 音 音 音

古奴又濱

法抄送

後抄

おのののののののののの

貝

月 いわ橋 いまの山

音

十

木柘杜

後抄

凡志 木柘里

後撰

木柘杜の柘乃木柘里

衣鴻

未抄

浦口

又二十二

衣鴻のあはれまてまてまて

古呂之里

未抄

古呂之里のあはれまてまてまて

粉濱

後抄

恒言 古志 恒言

又六

粉濱のあはれまてまてまて

狗

拾遺

芦のえたりしはしほの風乃
こもあつらふ冬はまたなり

池 松原 五月 鹿 菅浦
旁 月 廿五 琴 雪

介 合 宝 時 穀 一七
蛙 鴨 一 卵 多 紀 一 浦

杜若 アニキ 花 花 花 花 花
山城 和名大狗下狗 之毛古未

拾遺

鳥のつ 一のすれりの
鳥のつ 一のすれりの

介 山 一 池 一 京 川 三 二 三
シラ 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十
部 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

コトヒキヤニ
琴 彈 山 但 言

白 鹿 今 葉 丹 後 有 琴 川 漢
つらつら 人の声 ねたえ せん
しん せん 乃 中 の きん せん
この せん せん せん せん せん せん
せん せん せん せん せん せん

琴 山 中 中

琴 彈 壇

琴 源 京

琴 源 松 日 向

白 鹿 の 声 乃 今 葉 丹 後 有 琴 川 漢
つらつら 人の声 ねたえ せん
しん せん 乃 中 の きん せん
この せん せん せん せん せん せん
せん せん せん せん せん せん

古井社

伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回

越海浦

玉京 伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回

越山

拾遺 伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回

越海

十載 伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回
伊豆 輪 能 住 脈 伊 豆 三 回 三 回 三 回

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

散本

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

又二十日

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

又廿六日

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

杜石板

コチカセカハ
東 風 川 赤 切

ツノカミ
月 山ナキ カル山 船多

越湖

我中 名依伝

修存拾遺
うらても何ういへんおきての
うけあうにえりぬれ

越白山

加賀 石川

古今

白根後撰

吾の古事
年少の古
外
スモ多 社 月
君のゆい
年深久よりほむ言とよむけ
うけ白根よすむんちや
ゆきつりかた

コカタン
子難海 船多 橋心

万十二

日十六

令口名 大和

あふ

君代わつらうか
こころのよきよきつまつて

古賀神山 未詳名
山トシテおまーニホアルニアラス
又コカチ

木庭宮 大和

万二

うけむらうか
うけむらうか

コシノオホノ
越大池 大和

新拾遺
いとちかきみ
二十の大池林のまつと

児嶋

係

拾遺
波のうらみ
ゆきつりかた

千多 名 一松 舟

百八五合村
波上辰入見
別去志

コ一モカミサキ
古祇毛加美崎

信濃 あふ

万二十六

おの海乃
けあう

コソノサト
許若能里 未詳

万十

おの海乃
けあう

コソノ
濃深山 未詳

万十二

おの海乃
けあう

子鶴池

津奥 和名行方 子鶴

おの海乃
けあう

小嶋

萬古三徳... 非名... 於邊... 小嶋... 八十人... 舟

小嶋崎

今と... 小嶋崎の... 舟

志山

新和... 志山... 舟

本津川

本津川... 舟

本葉里

本葉里... 舟

本園山

本園山... 舟

本園谷

本園谷... 舟

本中山

本中山... 舟

國府

國府... 舟

國府液

國府液... 舟

國府深

國府深... 舟

志瀬川

志瀬川... 舟

巨甕

巨甕... 舟

川上... 舟

うむしと書は海の人書きしとて此三人はるる人なり

小松 山城 中玄教

東谷 何れも小松の首の書はしとて此三人はるる人なり
谷口 何れも小松の首の書はしとて此三人はるる人なり
但谷 上奇已出
鹿寺 何れも小松の首の書はしとて此三人はるる人なり
此等小松の首の書はしとて此三人はるる人なり

小松杜 大和

醴泉 近江 益後教 持後地

小松男 山城

九重津 山城 今業このつれはらとて書はしとて此三人はるる人なり

小手美奈 武吉 孫守紀 出

試崎 左

古井杜 山城

菜山 何日 文地内列也

腰折田 夕チヤ、折腰地 赤神化 秋例 津代
古之池 赤印

古志乃比杜 武吉
古之乃里 夫元一 月カニニウモシ又トヤダラシヨニナニルカシ里人
古志乃比杜 武吉

久高 志川はむらけつてあかふちもたふなりふちん
お授某いふ人しゆぬ志川のちんはなほはてふれぬとて

志杜 伊賀

東風と礼お麻尾は志田中川志園村リ

小茂志村 未印

まふほし

子持山 未印

但末園

小茂浦 未印

但末園

蔭代燈

小茂らばう吹風のあふすう
うけけこうとせりひとこん

故麻郷

尾辰 海戸
風土記云出油酒蓋版木 中農

薦生燈

伊勢 赤名殿
同云多異竹平岡神順也

恋田郷

尾法 中務殿
同云細鱗魚多出し 下農

故栖郷

日 日 日
同云出松有塔導布有蘭社皇明皇后之御所也

事主郷

日 日 日
同云出松有松有松之東南赤花荖柴胡

志園

日 日 日
同云出松有松有松之東南赤花荖柴胡

國分寺山

任賢 阿蘇殿
同云出松有松有松之東南赤花荖柴胡

東代山

日 日 日
同云出松有松有松之東南赤花荖柴胡

郡郷

日 日 日
同云出松有松有松之東南赤花荖柴胡

近義 コキチ
和泉 日根殿
土世富鏡民用多亦去某州

全身寺 日
同云行基菩薩聖基 虫食 有金色之像

許邊神社 神名
同云仁德天皇二年 甲戌五月不祭玉依姫也

高廉肥 コトコ
或駒越 疎向 ウトノ殿 虫食

古国府 日 イホサキ

圓分寺 日
同云農務 天宮神龜四年 丁卯三月初建

之定定額寺

江

朴津 エナツ

樺は 和名往吉取樺津以系は

倭原 ミ
任君の文々いよまてとてとてせ
むにれうよりいほる無人

えき エソ

形古令
みちの乃いしてあふえちあふ
こさつりてよはかのりい

介指玉三九
あふじやえ七のふほのほ記満る色もわつてあふん

江林 エイヤ

江林 エイヤ
仲交集をすなすやにわたりみちよえとやう
ソあふりいかりり
えしかりにあふるとあふるや分るえとにこふん

江泊 エトトリ

江泊 エトトリ
仲交集をすなすやにわたりみちよえとやう
ソあふりいかりり
えしかりにあふるとあふるや分るえとにこふん

愛知郡 エキノコエリ

川 エキノコエリ
三九一 コトコ コトコ
三九一 コトコ コトコ
三九一 コトコ コトコ

江川 未印

乃尹 江川の川にわたりて人跡の長れなること
治世の之川に言ふ所をいはずまきしれのこと

江加多海 未印

名号上取海に出は有サナラズル
はつ日之かこの海乃りり
やそいしてこれもまきしれ

枝池 未印

枝池のさしあられなる
えこの池のさしあられなる

枝溪 上総 和名市家敷江田

又二十五

蝦夷之千嶋 又三十三
アタラニニツカチニノサクラハナ
ナカムル色モナクテナララン

得名津海 未印

夫三村のあさりの屋をわくやんれて
是川の心れさしあられなる海にわくはけ能

榎葉井 大和 未印

かつこののまらるや
しなや 江のまらるや
やまらるや

江口 揚律

差取集

榎鳩 未印

藤垣

えんがしんてんげん
はつこののまらるや

夷神 エヒスノ 檜

廣田 寺
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ

夷里 陸奥

我乃人ノミナミノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ

夷鴻 エヒスノノミ 山城

エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ
エヒスノノミ

榎葉井神社

凡此記云孝謙天皇御宇二年二月始鎮座
廣田別宮雄略天皇廿二年戊午七月 徙

丹後國与謝郡奥井赤豊受大神假鎮座
于此宮上宮所三年九月廿八日遷渡
郡山田原

英多御 エヒスノ 和名

同云公穀一假粟一貢松梅脩竹棧
穀寺

神社 日 神名

同云欽明天皇四年所祭木花咲耶比咩也

圓頓寺 被向 古トノ殿

同云豐橋天皇之勅願也俊良阿耨
梨居于此

殿墳 日不

殿澤 日不

同云貢菱沢浮独活荷葉典芥
寮之料也

榎田堤 日イホラ致

同之毎歳仲春秋之望令郡民植柳
粟日別一千丁丁食充四府家其食
塩充御保田居廬濟海戸三年別防
河使令之正事

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

寺泊 テラトトリ

越後

榎田記に越中圓とあり

此の集族乃藤原氏國(まろく竹)時越後國
イノ竹ノ家マヤアツク竹ノ花也印居
物也此ノ竹の園乃名也立ノ竹ノ花也

寺井 テラノイ

越中

照月山 未詳

朔日カケテ月山ノテ月ヲ
西ケケニテミト云モノヲ

俗云云
但不記奇
出不知者
万葉集に
あり

天ノ志 テノシ

柳津

東生記

繁之奇也其来といふところにて陰陽師
と云ふ其を利益とも云ふる
天ノ志云々

千倉村 チクラムラ

柳津

杜 ツツ

月おふんけれ杜もく
マツノ志云々

手間 テニ 名 懐賢トモ

山 山 八重川いつも乃四比てまのり
りあてきたんさうん
る代りやあさりへあつて
こてうんてまのり

手児呼坂 テニ 月 月 奇呼坂出 タコノヨヒサカ
手児呼坂 月 月 奇呼坂出 タコノヨヒサカ

手越崎 テニ 坂河 テニ 手越崎 坂河

香丹 テニ 文三六 テニ 文三六

豊嶋 テニ 揚津 郡名

郭 テニ 万代 テニ 万代 郭

手瀬作比池 テニ 山城 夫

文三六 テニ 文三六 池と名をまてていひ

寺尾 テニ 後河イホラ 凡志記



十

十同

天
山
...

十更守坂

...

十銀時

張百合

十...

...

十...

...

十...

...

